
金沢大学附属特別支援学校 読書・読み聞かせ状況調査 (結果)

調査概要

対象	実施期間	調査方法	回答数(回答率)
児童生徒	①令和7年11月 (全学部)	①質問紙の配布もしくは Webアンケート	①47/58(81.0%)
保護者	①令和7年5月 ②令和7年11月	①Webアンケート ②Webアンケート	①52/58(89.7%) ②53/58(91.4%)
教職員	①令和7年8月 ②令和7年11月	①Webアンケート ②Webアンケート	①28/28(100%) ②28/28(100%) ※校長・非常勤等除く ※養護教諭・栄養教諭を含む

Ⅰ 児童生徒アンケート

Ⅰ 児童生徒アンケートより

○ 調査目的

児童生徒の読書・読み聞かせに対する認識を把握する。そして、読書活動推進計画の立案・改善に生かす参考資料とする。

○ 調査期間

令和7年11月

○ 調査対象・方法

本校児童生徒を対象に質問紙もしくはWebアンケート用二次元コードを配布した。

○ 形式

選択式と自由記述

○ 回答方法

質問紙もしくはWebアンケートに回答を記入した。なお、児童生徒によっては聞き取りのうえ教員が代筆した。

○ 集計方法

単純集計

○ 研究協力に対する倫理的配慮

配布の際に口頭で本アンケート調査の趣旨を説明するとともに、①調査へのご協力及び回答は自由意思によるものであること、②調査結果については厳重に管理し、関係者以外が閲覧したり、持ち出したりすることのないこと、③調査結果は匿名化したうえで集計し、個人名等が特定されたりするような公表は行わないこと、④研究結果は、個人が特定されないよう処理したうえで公表することを説明し、同意の場合のみ回答できるようにした。

アンケートの質問項目

質問	回答（□は選択式、空欄は自由記述）
Q1 氏名	
Q2 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（電子書籍の読書も含みます。教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます）	<input type="checkbox"/> 2時間以上 <input type="checkbox"/> 1時間以上、2時間より少ない <input type="checkbox"/> 30分以上、1時間より少ない <input type="checkbox"/> 10分以上、30分より少ない <input type="checkbox"/> 10分より少ない <input type="checkbox"/> 全くしない
Q3 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館（それぞれ電子図書館を含む）にどれくらい行きますか。	<input type="checkbox"/> だいたい週に4回以上行く <input type="checkbox"/> 週に1～3回程度行く <input type="checkbox"/> 月に1～3回程度行く <input type="checkbox"/> 年に数回程度行く <input type="checkbox"/> ほとんど、または、まったく行かない
Q4 あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除きます）	<input type="checkbox"/> 0～10冊 <input type="checkbox"/> 11～25冊 <input type="checkbox"/> 26～100冊 <input type="checkbox"/> 101～200冊 <input type="checkbox"/> 201～500冊 <input type="checkbox"/> 501冊以上
Q5 新聞を読んでいますか。	<input type="checkbox"/> ほぼ毎日読んでいる <input type="checkbox"/> 週に1～3回程度読んでいる <input type="checkbox"/> 月に1～3回程度読んでいる <input type="checkbox"/> ほとんど、または、まったく読まない
Q6 読書は好きですか。	<input type="checkbox"/> 当てはまる <input type="checkbox"/> どちらかといえば、当てはまる <input type="checkbox"/> どちらかといえば、当てはまらない <input type="checkbox"/> 当てはまらない
Q7 4月と比べて、読書・読み聞かせへの興味が深まりましたか。	<input type="checkbox"/> とてもそう思う <input type="checkbox"/> そう思う <input type="checkbox"/> そう思わない <input type="checkbox"/> 全くそう思わない

※Q2～Q6は令和5年度全国学力・学習状況調査の調査問題（児童質問紙調査）抜粋

アンケートの回答状況と集計結果の示し方

○ 回答数 : 47/58 (81.0%)

○ 結果の示し方

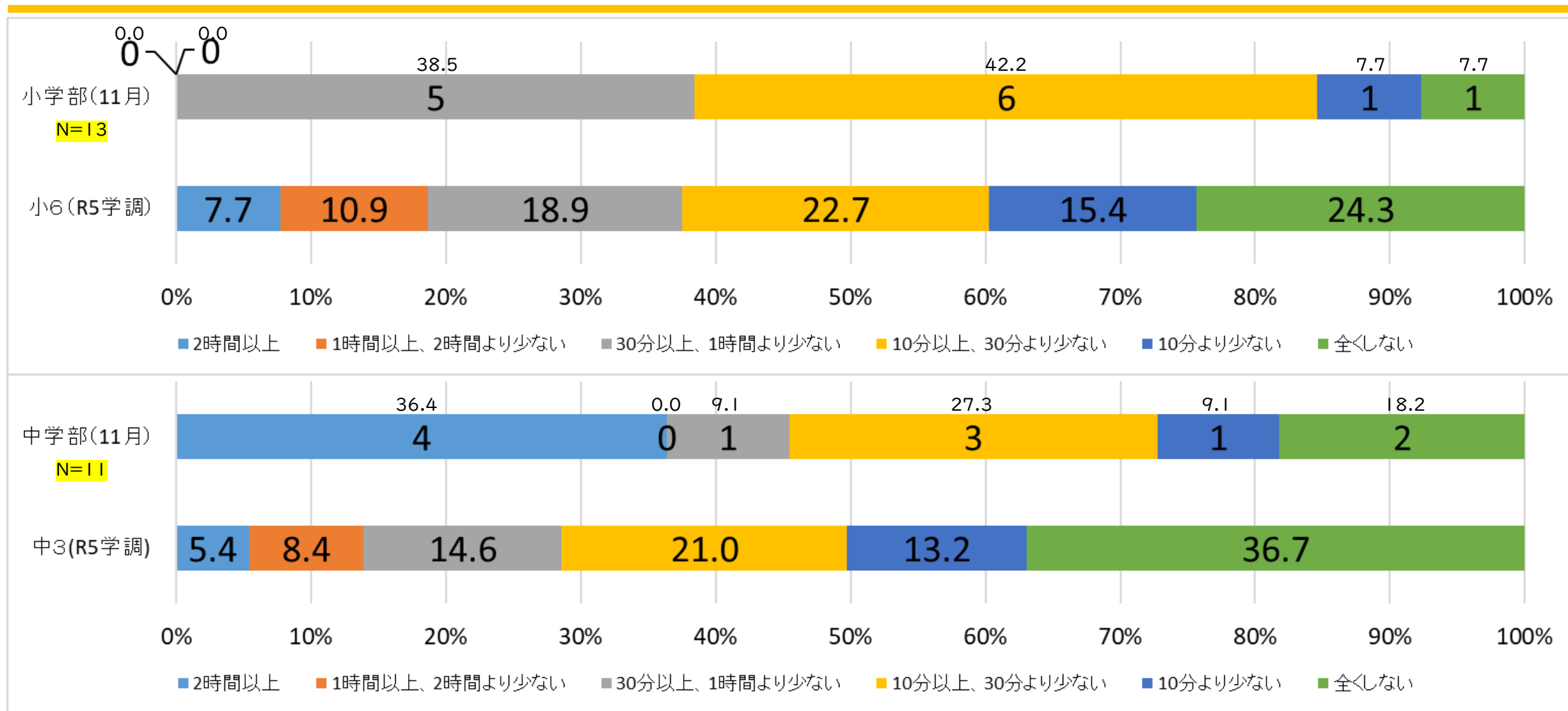
・令和5年度全国学力・学習状況調査報告書(質問紙調査)中学校第3学年等(中学校・義務教育学校・中等教育学校・特別支援学校中学部)の集計結果と比較しながら示す。

→年齢が近い生徒の結果と比較し、本校生徒の状況の特徴を把握するため。

○留意点

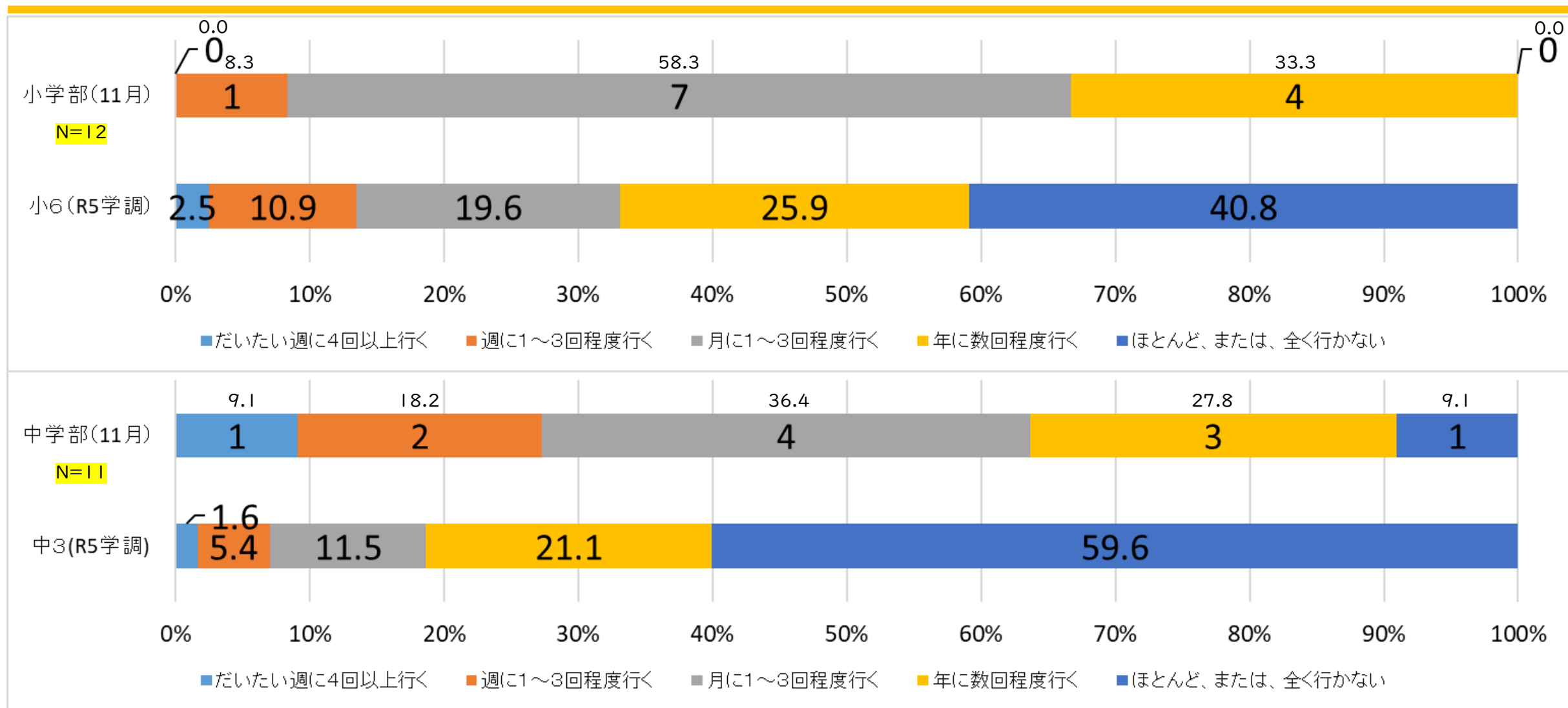
- ・保護者アンケートの結果と重ねて考察する必要がある。
- ・無回答を除外して集計した。

【小・中学部】授業以外での1日当たりの読書時間



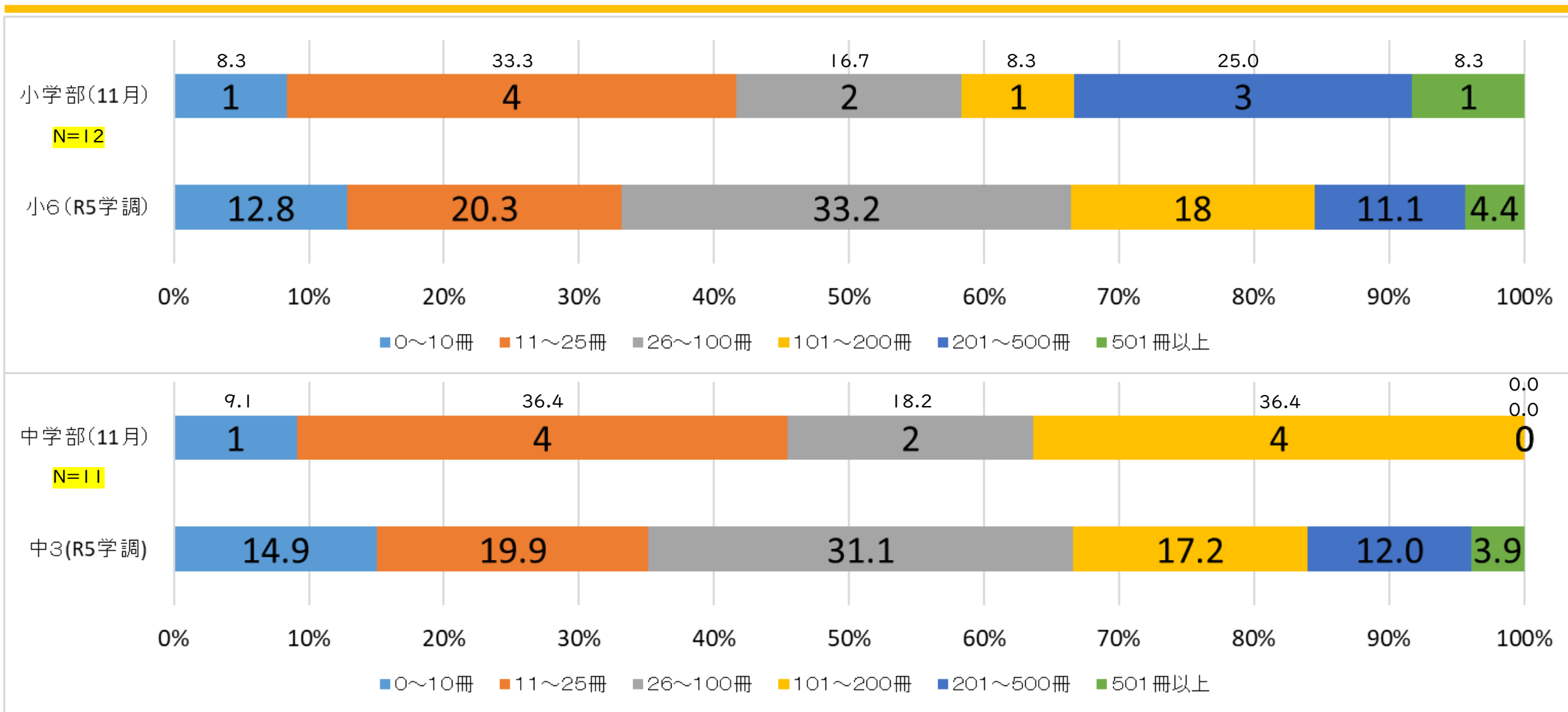
- ・【小学部】大半の児童が1時間未満の範囲で読書・読み聞かせを行っている。不読率は同年代よりも低い。
- ・【中学部】同年代の生徒より読書時間が長い。（※保護者結果とのずれに留意）

【小・中学部】授業以外での図書館・学校図書館（電子図書館を含む）の利用頻度



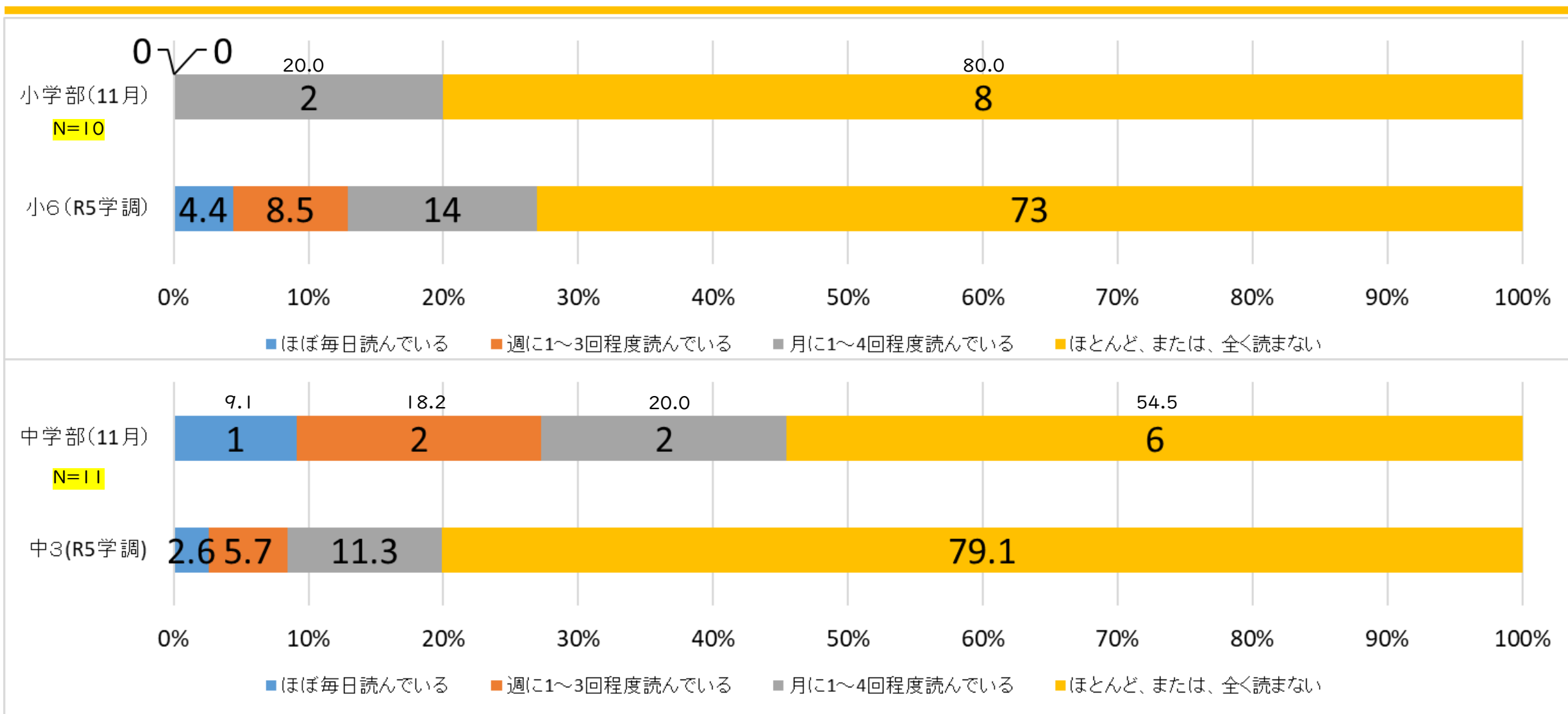
- ・【小学部】同年代の児童より利用頻度は低い「行かない」と回答した児童はいなかった。
- ・【中学部】同年代の生徒より利用頻度が多い。（※保護者結果とのずれに留意）

【小・中学部】家庭の蔵書数



- ・【小学部】25冊以下の層と101冊以上の層の2極になっている。（※保護者結果とのずれに留意）
- ・【中学部】同年代の生徒より蔵書数が少ない。（※保護者結果とのずれに留意）

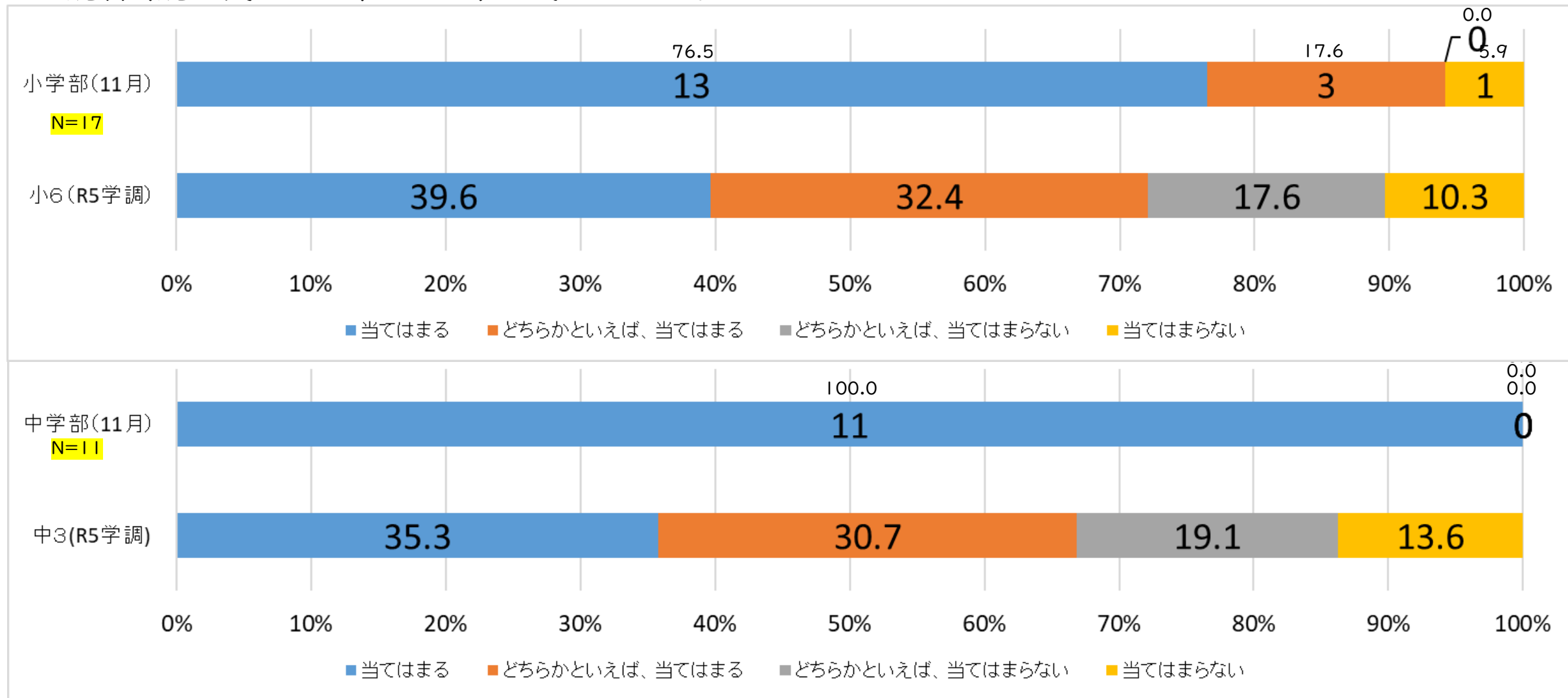
【小・中学部】新聞・子ども新聞の読書頻度



- ・【小学部】同年代の生徒より読む頻度が低い。
- ・【中学部】同年代の生徒より読む頻度が高い。(※保護者結果とのずれに留意)

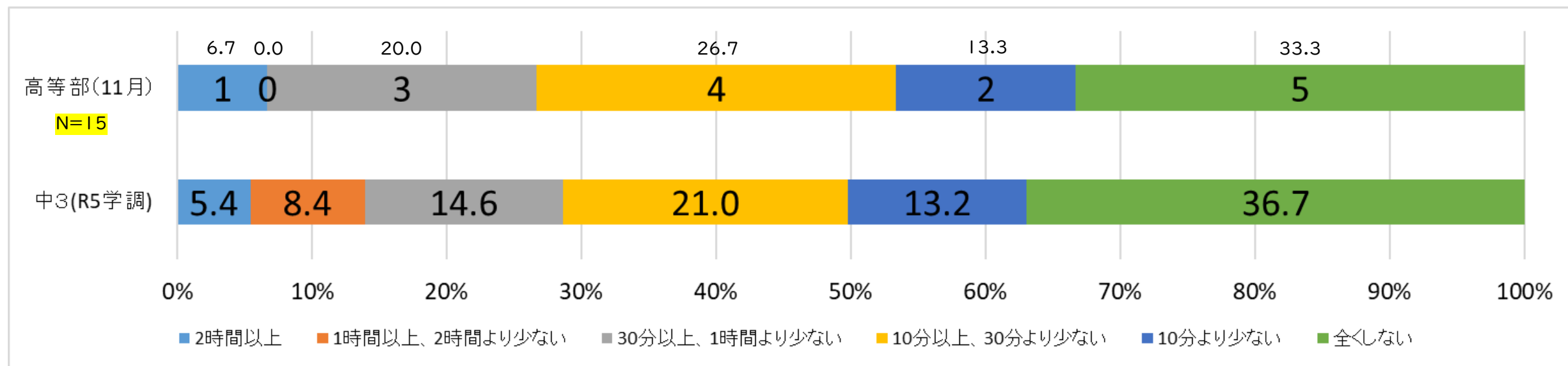
【小・中学部】読書・読み聞かせへの興味・関心

Q 読書（読み聞かせも含みます）が好きですか。



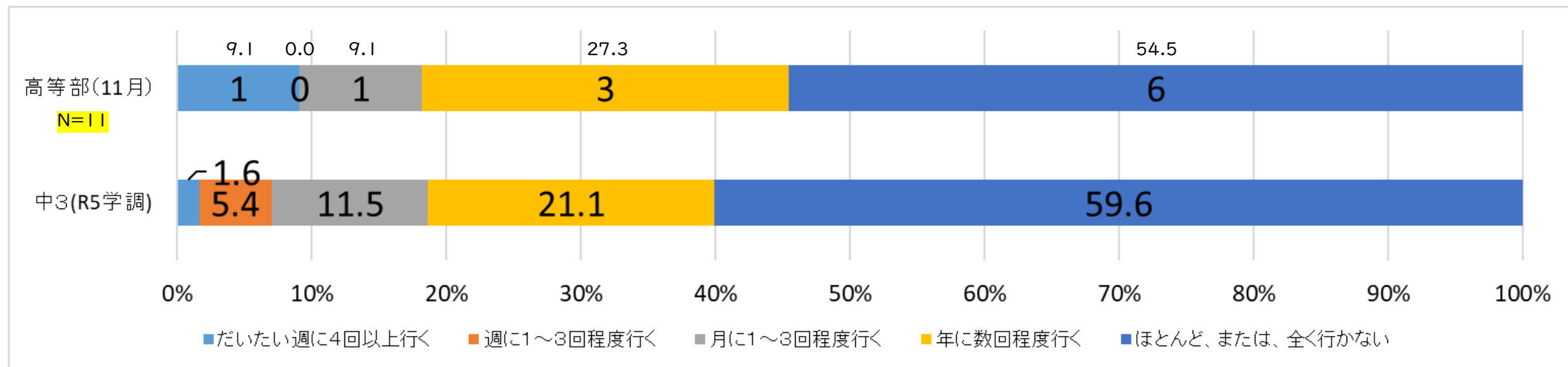
・同年代の生徒より、読書・読み聞かせに対して肯定的に捉えている生徒が多い。

【高等部】授業以外での1日当たりの読書時間



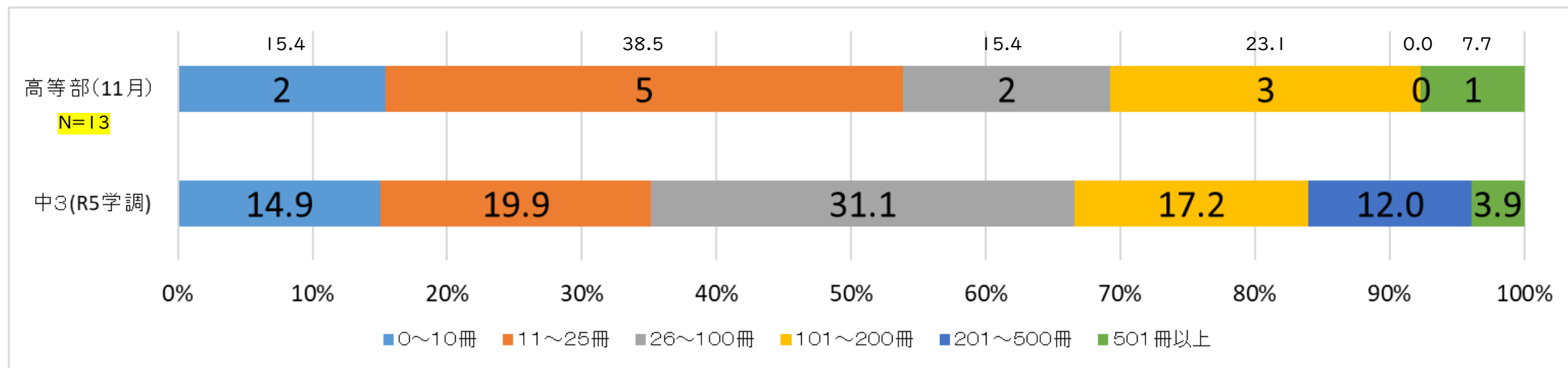
・【高等部】同年代と似た傾向となっている。

【高等部】授業以外での図書館・学校図書館（電子図書館を含む）の利用頻度



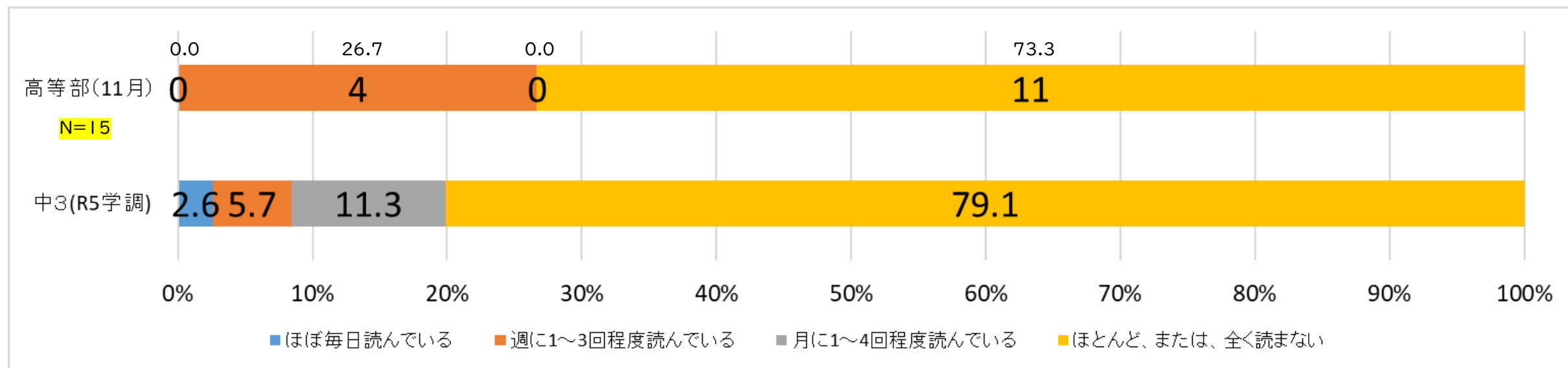
・【高等部】同年代と似た傾向である。

【高等部】家庭の蔵書数



・【高等部】同年代と似た傾向である。

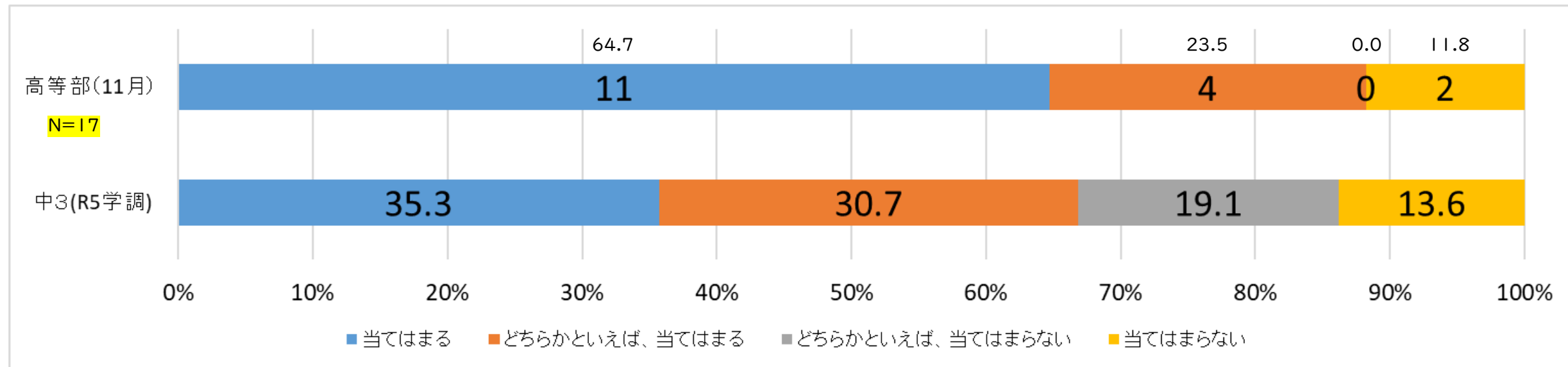
【高等部】新聞・子ども新聞の読書頻度



・【高等部】同年代と似た傾向である。

【高等部】読書・読み聞かせへの興味・関心

Q 読書（読み聞かせも含みます）が好きですか。



・同年代の生徒より、読書・読み聞かせに対して肯定的に捉えている生徒が多い。

2 保護者アンケート

2 保護者アンケート

○ 調査目的

児童生徒の家庭での読書の様子を把握する。そして、推進計画の立案・改善に生かす参考資料とする。

○ 調査期間

①令和7年5月 ②令和7年11月

○ 調査対象・方法

本校保護者を対象にWebアンケート用二次元コードを記載した調査依頼用紙を送付した。

○ 形式

選択式と自由記述

○ 回答方法

調査依頼用紙に記載された二次元コードを読み込みWeb回答

○ 集計方法

単純集計

○ 研究協力に対する倫理的配慮

回答フォームにおいて本アンケート調査の趣旨を説明するとともに、①調査へのご協力及び回答は自由意思によるものであること、②調査結果については厳重に管理し、関係者以外が閲覧したり、持ち出したりすることのないこと、③調査結果は匿名化したうえで集計し、個人名等が特定されたりするような公表は行わないこと、④研究結果は、個人が特定されないよう処理したうえで公表することを説明し、同意の場合のみ回答できるようにした。

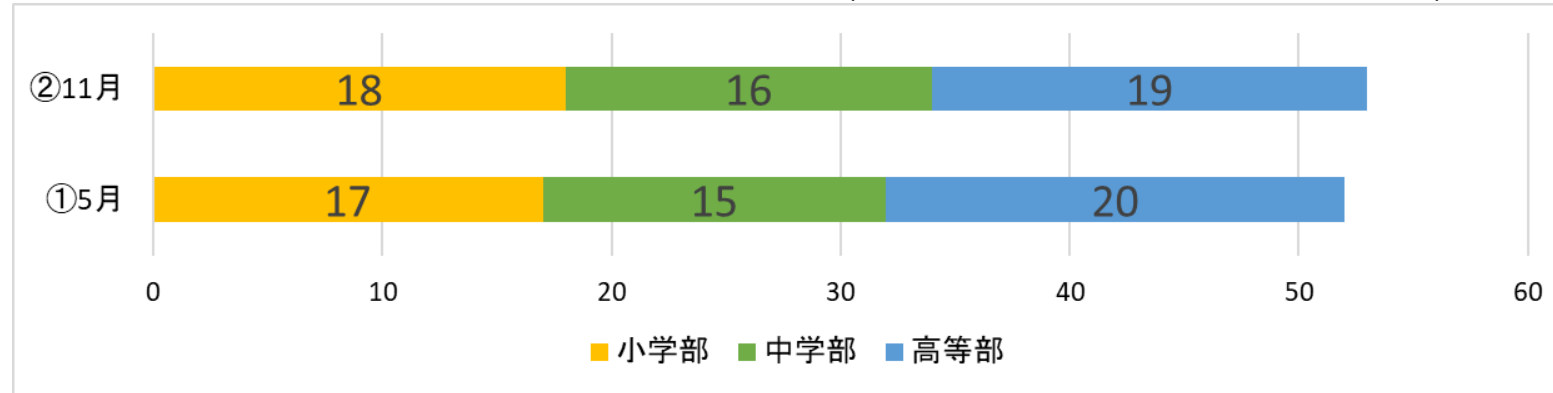
アンケートの質問項目

質問	回答（□は選択式、空欄は自由記述）
Q1 【アンケート調査に関する配慮事項と同意の確認】	<input type="checkbox"/> 同意します。 <input type="checkbox"/> 同意しません。
Q2 お子さんはどちらの学部に所属していますか。	
Q3 お子さんの氏名をご記入ください。	
Q4 【教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます】学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書（読み聞かせも含みます）をしていますか。	
Q5 【教科書や参考書、漫画や雑誌を含みます】学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書（読み聞かせも含みます）をしていますか。	<input type="checkbox"/> 2時間以上 <input type="checkbox"/> 1時間以上、2時間より少ない <input type="checkbox"/> 30分以上、1時間より少ない <input type="checkbox"/> 10分以上、30分より少ない <input type="checkbox"/> 10分より少ない <input type="checkbox"/> 全くしない
Q6 【教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます】休日（土曜日・日曜日・祝日・長期休暇等）、1日当たりどれくらいの時間、読書（読み聞かせも含みます）をしていますか。	
Q7 【教科書や参考書、漫画や雑誌を含みます】休日（土曜日・日曜日・祝日・長期休暇等）、1日当たりどれくらいの時間、読書（読み聞かせも含みます）をしていますか。	
Q8 放課後や学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます）を読んだり、借りたりするために、地域の図書館（それぞれ電子図書館を含む）にどれくらい行きますか。	<input type="checkbox"/> だいたい週に4回以上行く <input type="checkbox"/> 週に1～3回程度行く <input type="checkbox"/> 月に1～3回程度行く <input type="checkbox"/> 年に数回程度行く <input type="checkbox"/> ほとんど、または、まったく行かない
Q9 ご家庭には、およそどれくらいのお子さんのための本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除きます）。	<input type="checkbox"/> 0～10冊 <input type="checkbox"/> 11～25冊 <input type="checkbox"/> 26～100冊 <input type="checkbox"/> 101～200冊 <input type="checkbox"/> 201～500冊 <input type="checkbox"/> 501冊以上
Q10 お子さんは新聞（こども新聞も含みます）を読んでいますか。	<input type="checkbox"/> ほぼ毎日読んでいる <input type="checkbox"/> 週に1～3回程度読んでいる <input type="checkbox"/> 月に1～3回程度読んでいる <input type="checkbox"/> ほとんど、または、まったく読まない
Q11 お子さんは読書（読み聞かせも含みます）が好きですか。	<input type="checkbox"/> 当てはまる <input type="checkbox"/> どちらかといえば、当てはまる <input type="checkbox"/> どちらかといえば、当てはまらない <input type="checkbox"/> 当てはまらない
Q12 お子さんが好んで読んでいる本がありましたら、ご記入ください。 【注意事項】本質問はお子さんの興味・関心に沿って取組を行うためにお伺いしますが、本の好みは思想・信条や支持する人物・政党、人生観などに係るものであり、憲法で保障されている個人の自由権に属します。そのため、お子さんと相談のうえ、回答が差し支えない場合のみご回答ください。	
Q13 お子さんの読書・読み聞かせに対する興味・関心に関わる具体的なエピソードがありましたら、ご記入ください。今後の取組の参考にさせていただきます。	

※ Q4～Q11は令和5年度全国学力・学習状況調査の調査問題（児童質問紙調査）抜粋・改変

アンケートの回答状況と集計結果の示し方

○ 有効回答数： ①89.7% (52/58) ②91.4% (53/58)



○ 結果の示し方

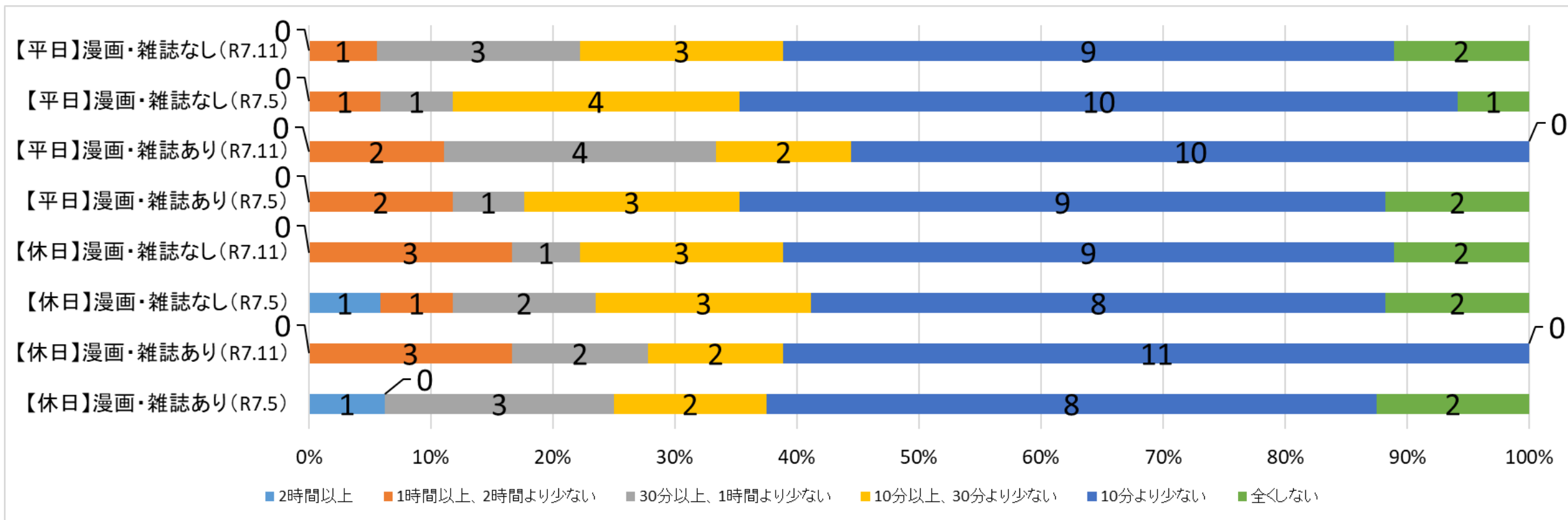
1 5月調査結果と11月調査結果を比較しながら示す。

→取組の効果を把握するため。

2 集計結果については令和5年度全国学力・学習状況調査報告書(質問紙調査)小学校第6学年等(小学校・義務教育学校・特別支援学校小学部)もしくは中学校第3学年等(中学校・義務教育学校・中等教育学校・特別支援学校中学部)の集計結果と比較しながら示す。

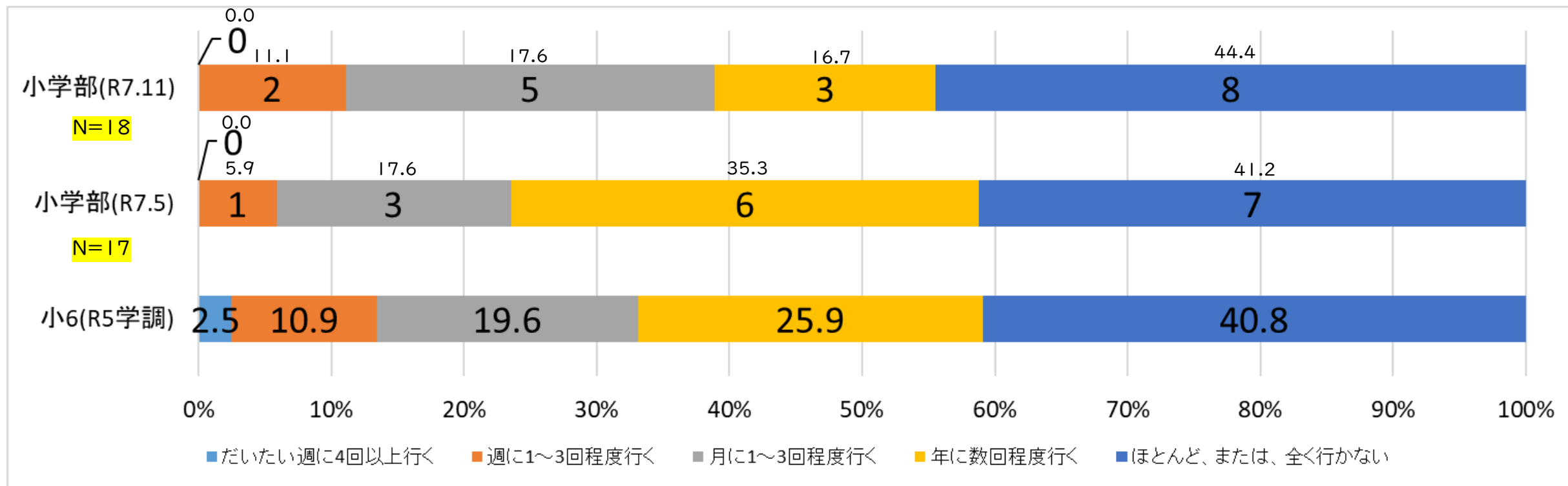
→年齢が近い生徒の結果と比較し、本校児童生徒の状況の特徴を把握するため。

【小学部】授業以外での1日当たりの読書時間（読み聞かせを含む）



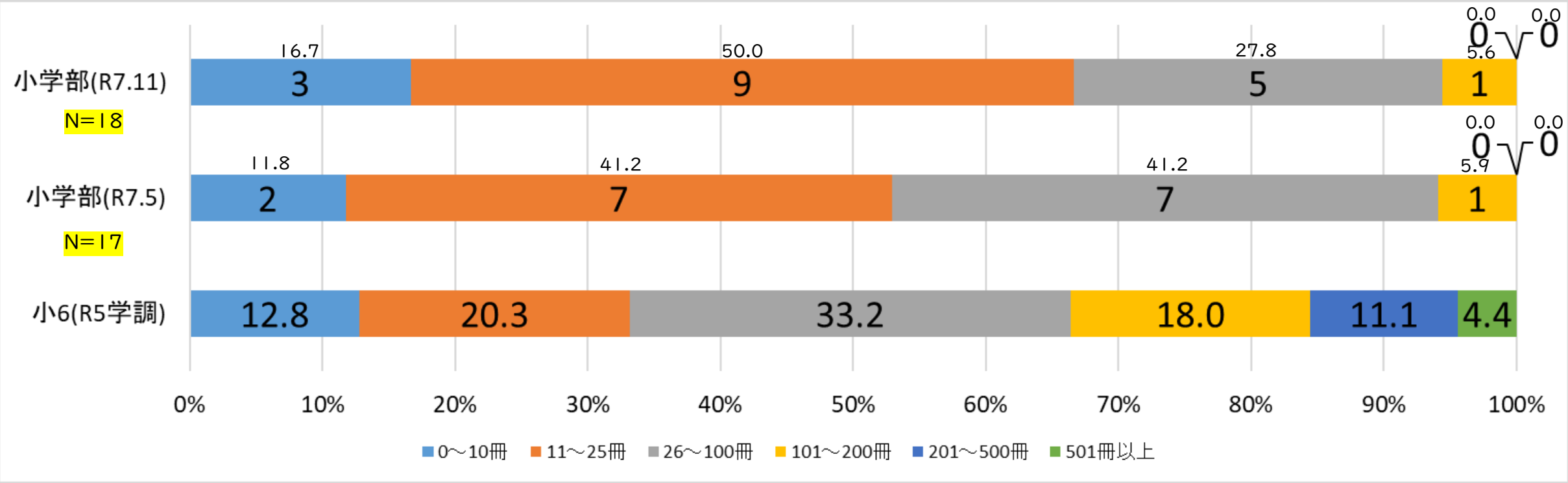
- ・短時間（10分より少ない）の読書（読み聞かせ）が中心になっている。
- ・漫画・雑誌の有無による読書時間の影響は小さい。
- ・平日・休日による読書時間の影響は小さい。
- ・漫画・雑誌を含む場合、取組後はすべての児童が平日・休日を問わず読書・読み聞かせに取り組むようになった。

【小学部】公共図書館の利用頻度



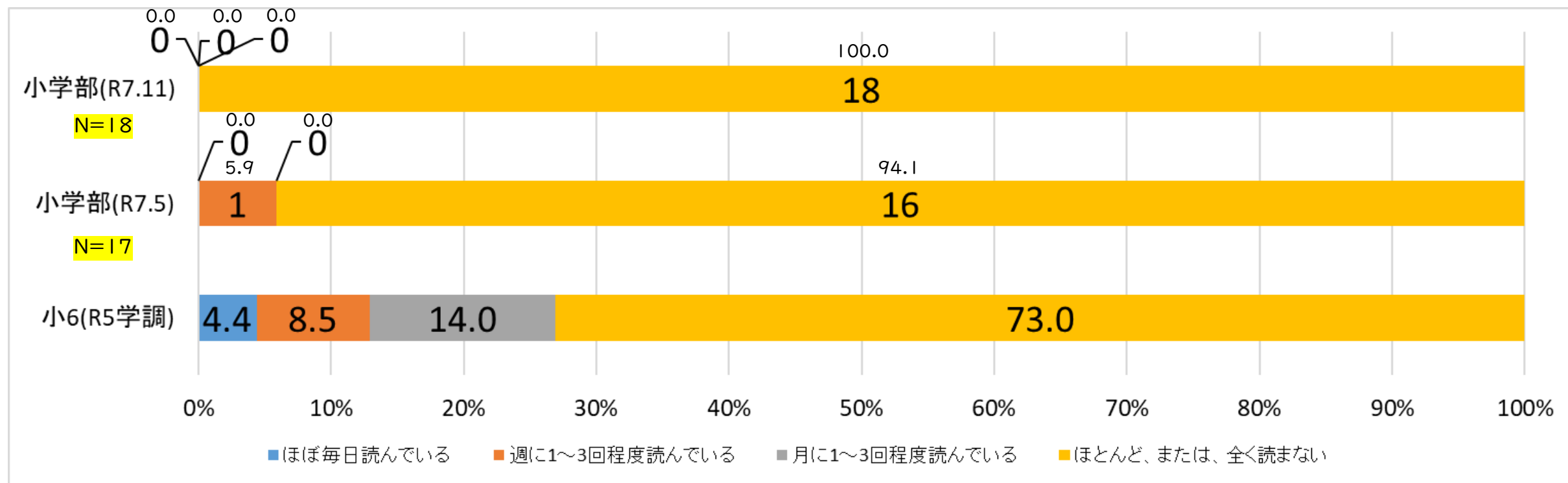
- ・公共図書館を利用していると回答した割合が半数を超えている。
- ・「ほとんど、または、全く行かない」と回答した割合は小学校第6学年と同程度である。
- ・図書館を利用している層では、取組後に「月に1〜3程度」以上の頻度で行くとの回答が増加した。

【小学部】家庭の蔵書数



- ・児童のための蔵書数はほとんどが100冊以下と回答しており、蔵書数は小学校第6学年よりも少ない。
- ・取組後に蔵書数が減少した(→適切に認識した結果?)。

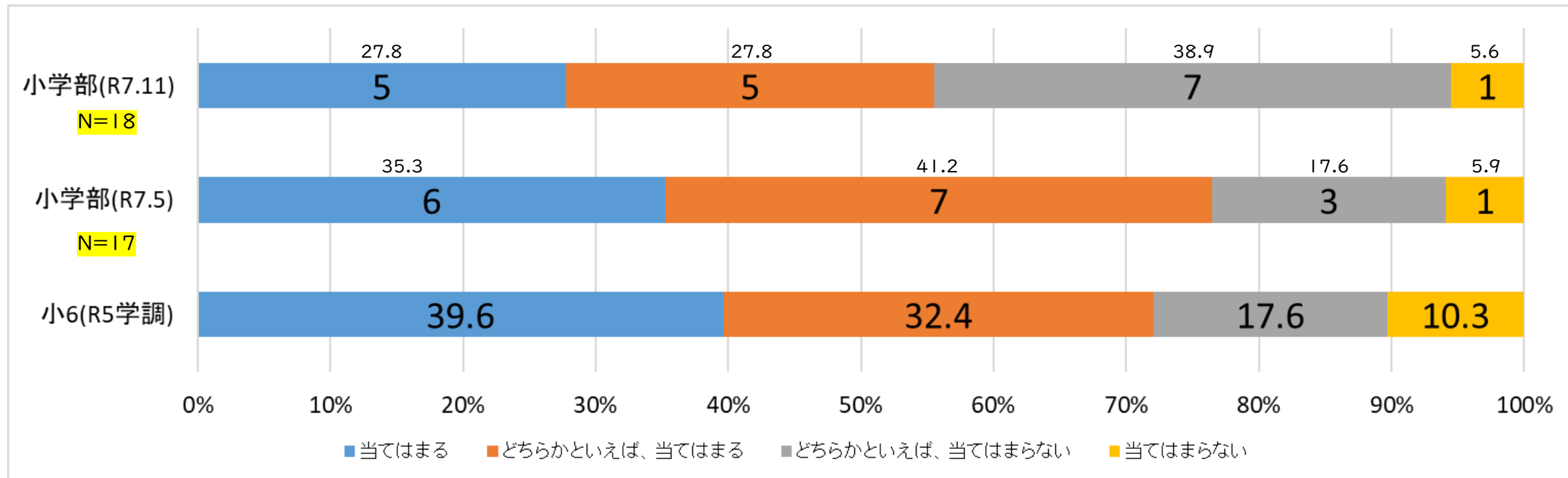
【小学部】新聞・子ども新聞の読書頻度



- ・大多数が「ほとんど、または、まったく全く読まない」と回答しており、小学校第6学年の回答割合よりもさらに高い。
- ・取組後も大きな変化は見られなかった。

【小学部】読書・読み聞かせへの興味・関心

Q お子さんは読書（読み聞かせも含みます）が好きですか。



- ・読書・読み聞かせに対して肯定的に捉えている回答割合が、取組後に減少した。
- ・取組後について、読書・読み聞かせに対して肯定的に捉えている回答割合が同年代の児童よりも低くなった。

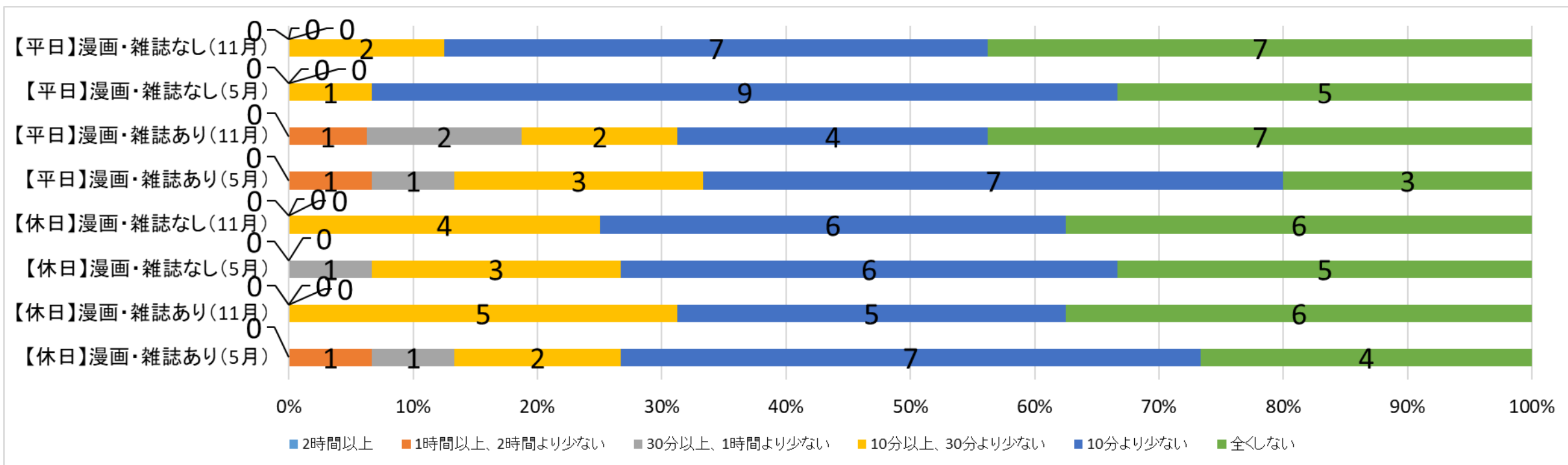
【小学部】好んで読んでいる本

ノラネコぐんだんぺこぺこキャンプ	ノラネコぐんだんラーメンやさん
よるくま	しろくまちゃんのほっとけーき
大ピンチ図鑑シリーズ	はじめてのおつかい
食べ物図鑑	こぐまちゃんシリーズなど
ブレーメンのおんがくたい	音の出る絵本
でこちゃん	ももんちゃんシリーズ
そらまめくんシリーズ	アンパンマンシリーズ
海洋図鑑	ドラえもん
桃太郎	びじゅチューンの本
乳幼児向けの絵本	大ピンチずかん
パンダ銭湯	パンどろぼう
わらべきみかのことばえほん	はじめてずかん1000
食べ物の写真が載った絵本	図鑑

【小学部】読書・読み聞かせに対する興味・関心に関わる具体的なエピソード

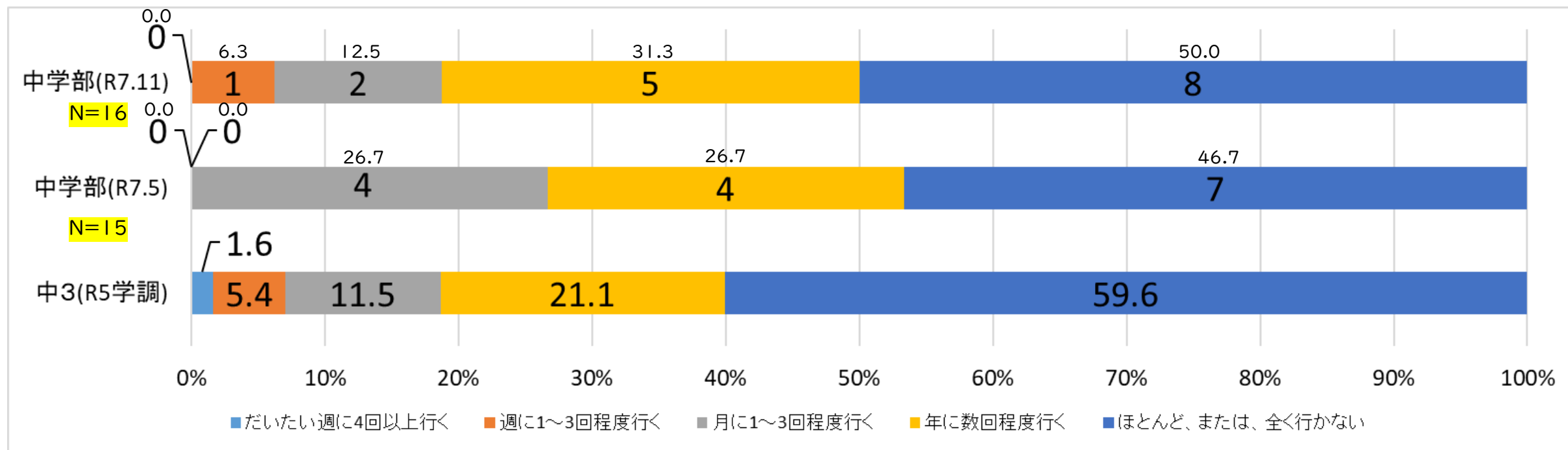
夏休みの宿題にて読書関連の内容があったため、読書が習慣化した。	デフォルメされたイラストより、写実的な絵の方が興味を持って見ている気がします。
季節、自然、曜日、○月など、生活する上で欠かせない身近な事柄を題材にした絵本が好きです。	食事の時に足をニョキっと出しているので、図書館で『あしによきによき』という絵本を借りてきたら喜んで見ていました。
0歳児が読むような本を毎日10冊以上読み聞かせたら、3歳で文字を全て覚え、読む力がついた。	じっくり読むというよりは、その時のマイブームの絵本をページをペラペラとめくってルーティンを楽しんでいる(こなしている)感じがします。
図鑑やシリーズものが好きでよく読みます	好きな食べ物の本は興味がある
字は読めませんが、同じ絵本を好むため、暗唱して聞かせてくれます文字はまだ理解できていないので、ビジュアルが多い本(図鑑)を好んで自分でページをめくって楽しんでいる姿があります。図鑑や本を見ることで認識した言葉も多いです。	最近は、少しふざけた感じのオチのある絵本を読んで、クスクス笑っています

【中学部】授業以外での1日当たりの読書時間（読み聞かせを含む）



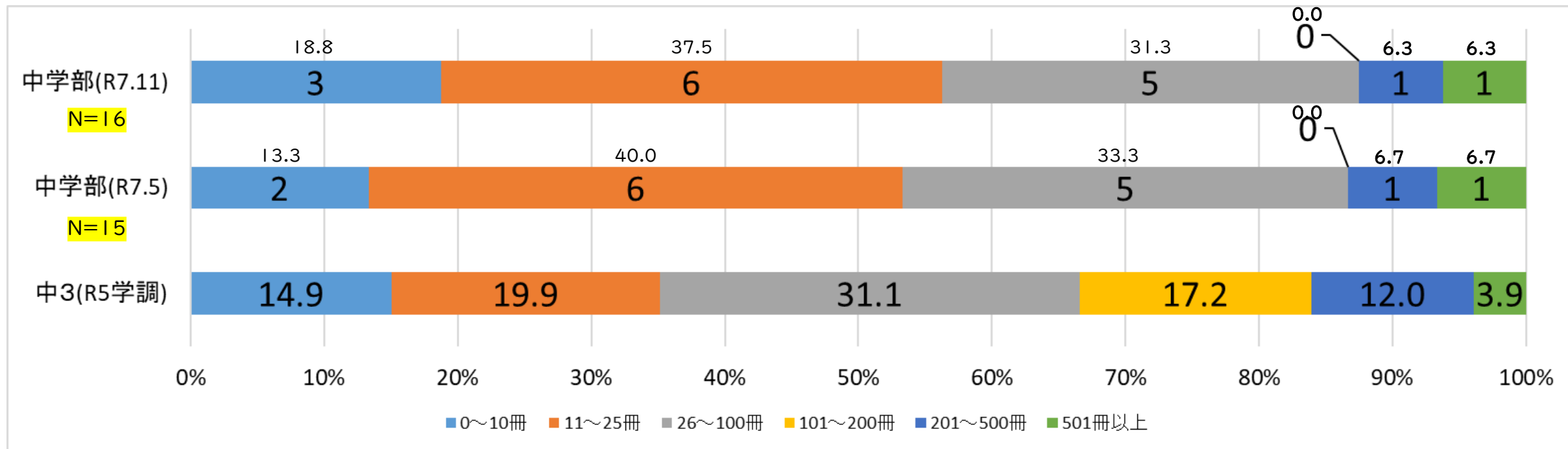
- ・取組前は短時間（10分より少ない）の読書（読み聞かせ）が中心になっているが、取組後は読まない層が増加し、長時間（30分以上）の層が減少している。
- ・平日・休日を問わず、「漫画・雑誌あり」の方が「なし」の場合よりも読書時間が高まっている。
→漫画・雑誌による読書時間への影響が一定程度見られる。

【中学部】公共図書館の利用頻度



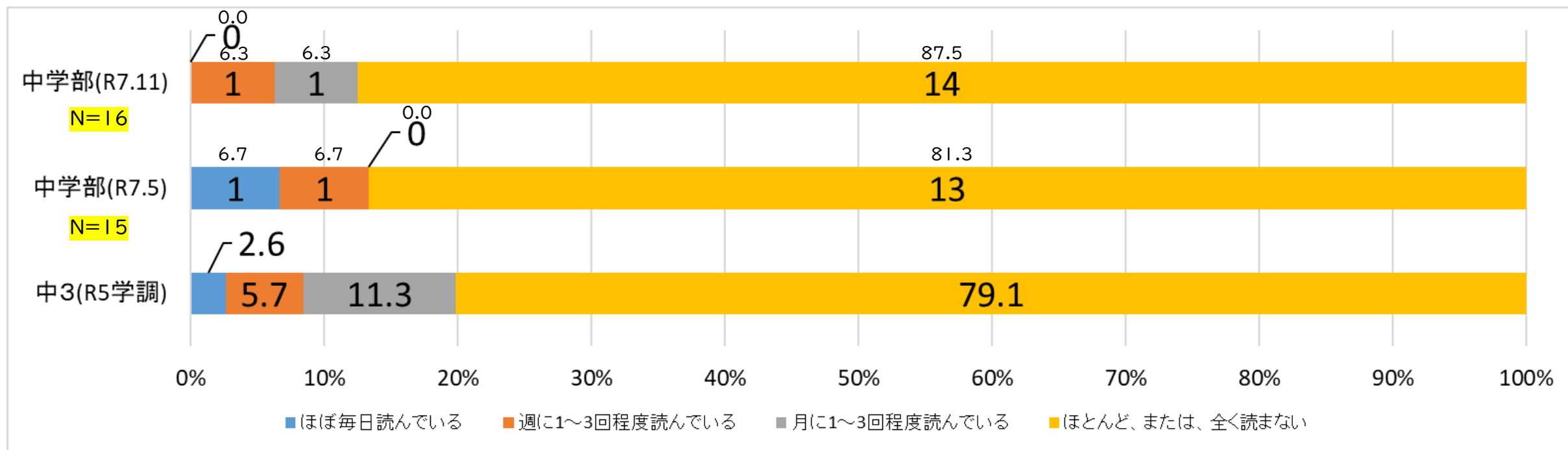
- ・公共図書館を利用していると回答した割合が半数程度である。そのうち取組前は「月に1〜3回程度」と「年に数回程度」が半々程度であったが、取組後には頻度が高まった生徒が1名、低まった生徒が1名見られた。
- ・「ほとんど、または、全く行かない」と回答した割合は中学校第3学年等よりも低い。

【中学部】家庭の蔵書数



- ・100冊以下の回答割合が8割後半を占めており、蔵書数は中学校第3学年等よりも少ない。
- ・取組後の蔵書数に大きな変化は見られなかった。

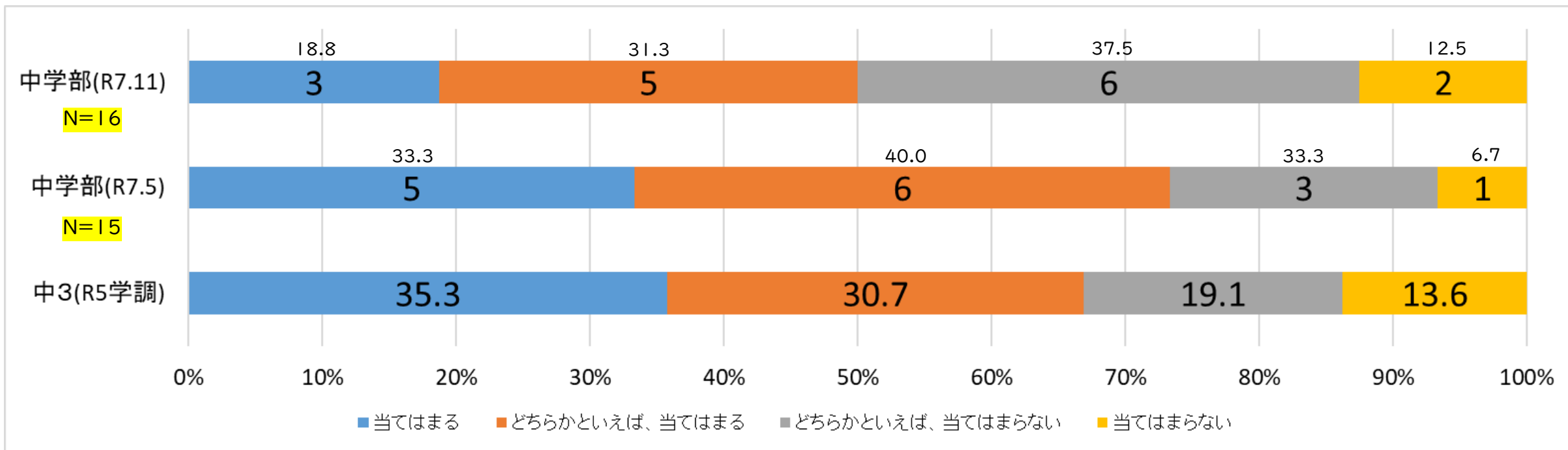
【中学部】新聞・子ども新聞の読書頻度



・大多数が「ほとんど、または、まったく全く読まない」と回答しており、中学校第3学年等の回答割合と同程度である。

【中学部】読書・読み聞かせへの興味・関心

Q お子さんは読書（読み聞かせも含みます）が好きですか。



- ・読書・読み聞かせに対して肯定的に捉えている回答割合が、取組後に減少した。
- ・小学部とほぼ同じ傾向である。

【中学部】好んで読んでいる本

電車や新幹線の絵本	「さかいさちえ」さんのポコポコシリーズ
ポケモン図鑑	はらぺこあおむし
しろくまちゃんのほっとけーき	女の子が主役の物語
水族館の1日	「ふくざわ ゆみこ」さんの動物シリーズ
えんとつ町のプペル	だるまさんが
絵本	ノラネコぐんだんシリーズ
「仕事に行ってきます」シリーズ	ポケモン関連の本
「はじめてのおつかい」「あさえとちいさいいもうと」など、絵が林明子さんの絵本ががわりと多い。	やりとりが楽しめるものや実生活に近い内容の絵本がイメージしやすいためか好きな様子。「ノンタン」シリーズ、「きゅうきゅうしゃのぴぽくん」「きめてよおじいちゃん」など
エリックカール絵本	

【中学部】読書・読み聞かせに対する興味・関心に関わる具体的なエピソード

小さい時からなるべく読み聞かせをするよう努力してきました。弟ができたことで、弟に読み聞かせをお願いし、読み聞かせをしてくれるようになりました。

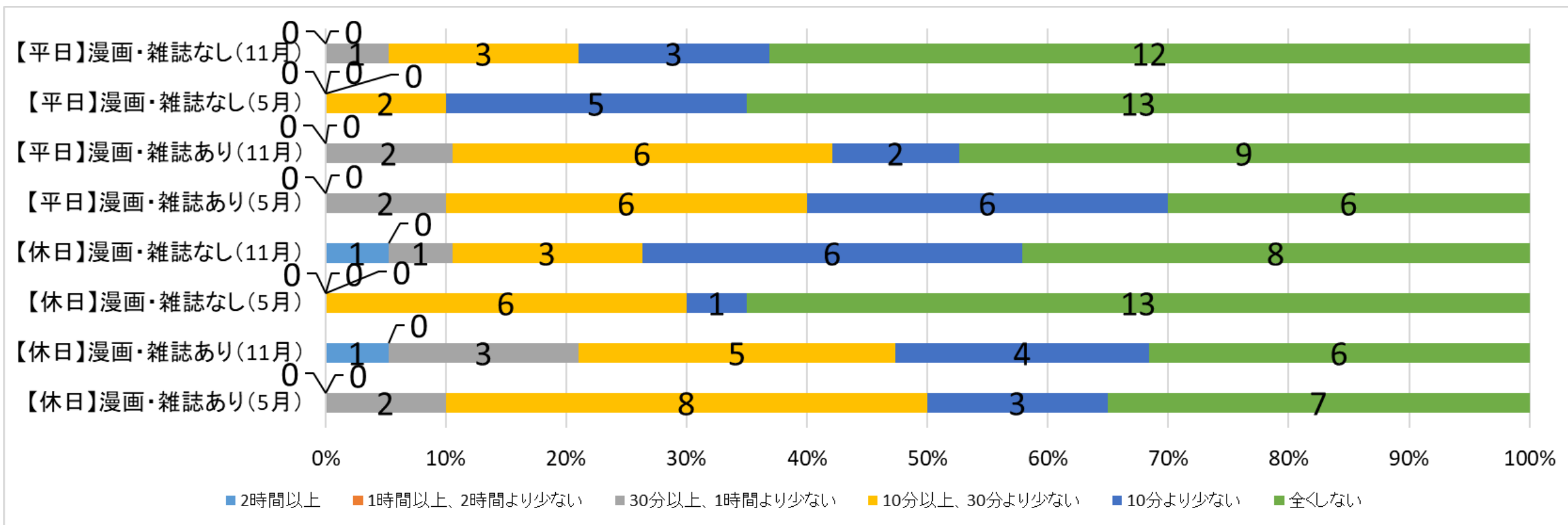
夏休みの宿題のようにこのテーマの本を読んでみようといった目標があると本を自ら読もうとする

読売新聞のポケモンの連載を欠かさず読んでます

学校の読書の時間では、よく読んでいるそうなので、環境が大事なのかと思っています。

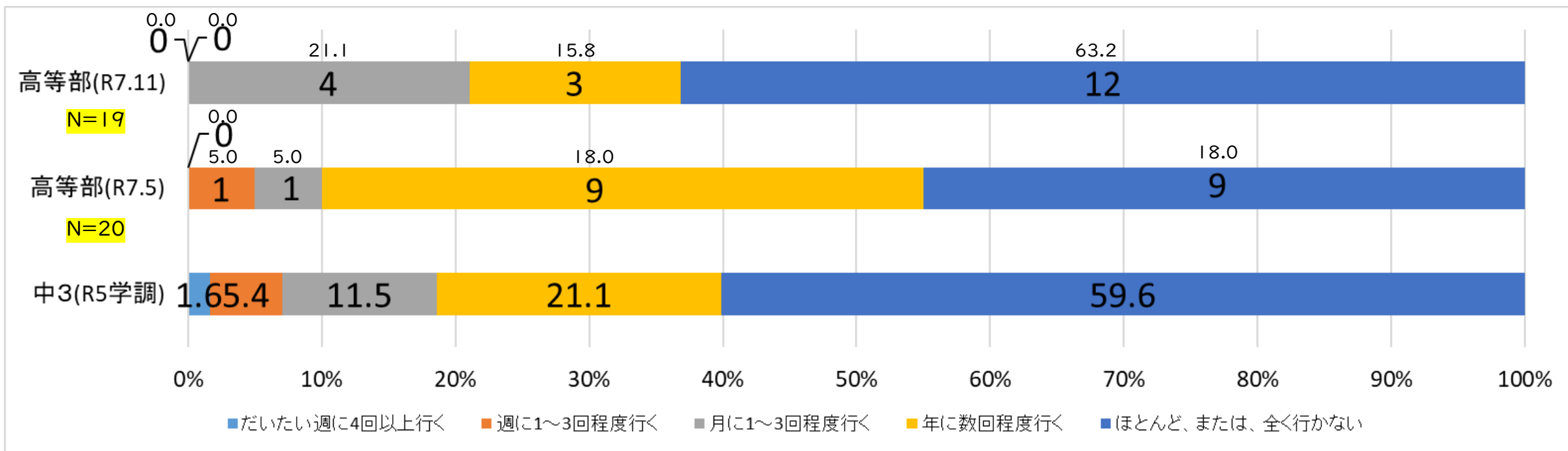
繰り返しのある絵本がやっぱり好きです。何度も一人で読んで楽しんでいます。

【高等部】授業以外での1日当たりの読書時間（読み聞かせを含む）



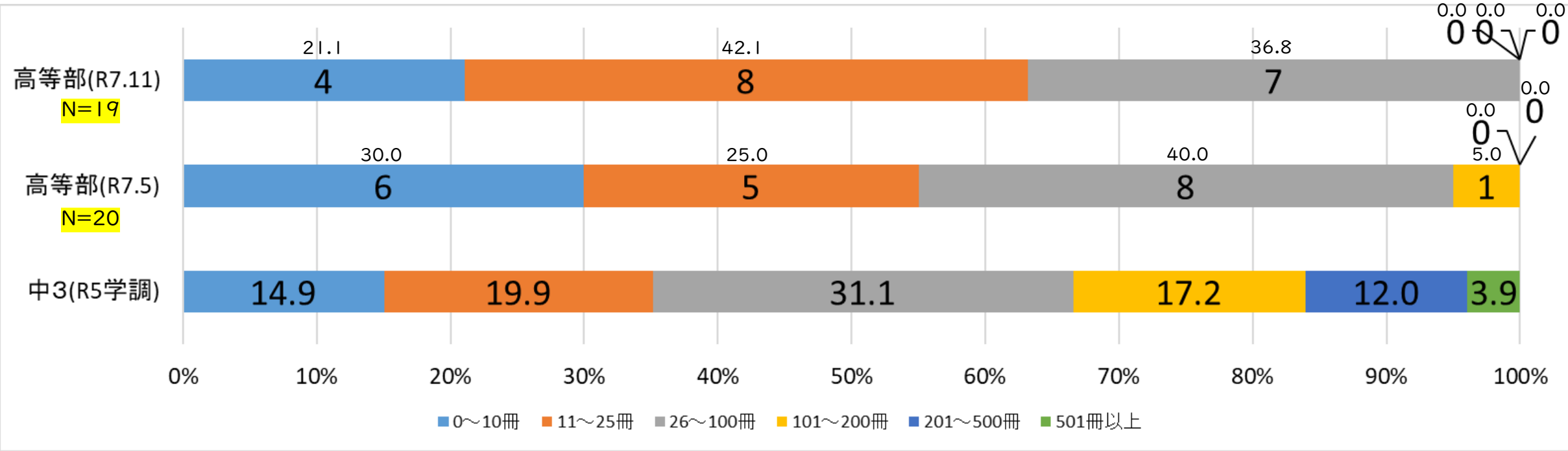
- ・平日よりも休日の読書時間が高まっていた。
- ・漫画・雑誌を含むと読書時間が高まっており、半数以上が読書に取り組んでいた。
- ・休日については、取組後に読書時間が高まっていた。

【高等部】公共図書館の利用頻度



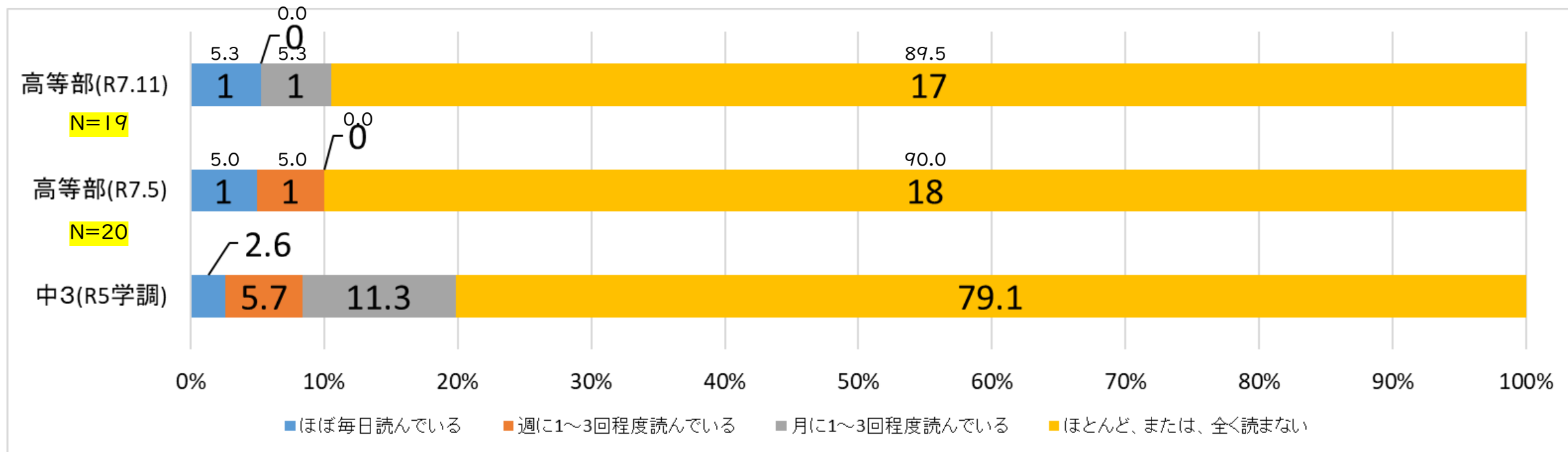
- ・取組後に公共図書館を利用していると回答した割合が減少した。
- ・利用頻度の傾向は中学校第3学年等と同程度である。

【高等部】家庭の蔵書数



・回答のほぼすべてが100冊以下となっており、蔵書数は中学校第3学年等よりも少ない。

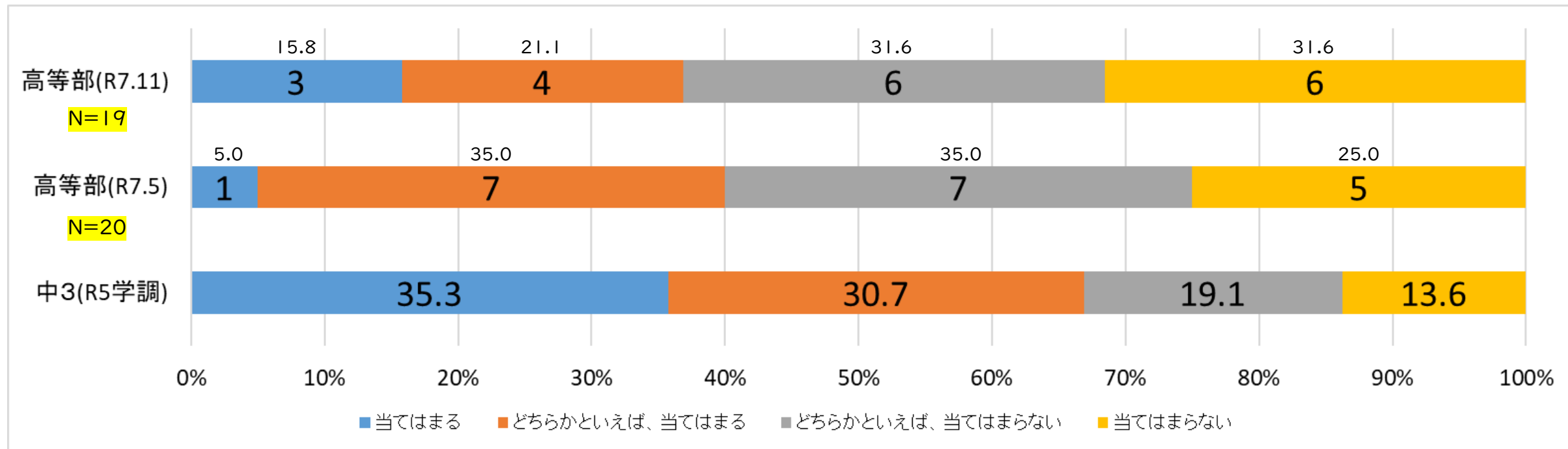
【高等部】新聞・子ども新聞の読書頻度



・大多数が「ほとんど、または、まったく全く読まない」と回答しており、中学校第3学年等の回答割合よりも高くなっている。

【高等部】読書・読み聞かせへの興味・関心

Q お子さんは読書（読み聞かせも含みます）が好きですか。



- ・読書・読み聞かせに対して肯定的に捉えている回答割合に、大きな変化は見られなかった。
- ・生徒を対象とした調査結果と大きく乖離している。

【高等部】好んで読んでいる本

おばけのてんぷら	旅行雑誌
忍たま乱太郎シリーズ	攻略本
戦極姫シリーズ	漫画
イエペは ぼうしが だいすき	ゲーム雑誌
ざんねんな生きもの事典	はじめての心理学
食べ物	絵本
料理だったり(ハンバーグやみそ、カレーなど) 実際に体験したものに関連する本	コミカルにリズムのある文面
ヨシタケシンスケさんの本	絵本など字が大きく読みやすいもの
ゲームやアニメのキャラクターが出てくる参考 書	かいけつゾロリ
はらぺこあおむし	5分後に意外な結末
銭天堂	アンパン図鑑

【高等部】読書・読み聞かせに対する興味・関心に関わる具体的なエピソード

娘は読んだ本の中で気になることがあると、そのテーマに関する別の本も読みたがるようになりました。1冊の本をきっかけに興味ที่広がり、読書量も少しずつ増えています。また、娘が小学校の頃に校長先生から「本を読まないから与えないのではなく、まずは1冊欲しいと言ったら本を与えてください。1冊の本から疑問や興味が生まれ、読んでいくようになりますよ」と言われたことがあります。今まさにその言葉の通りだと実感しています。

読みたい本があれば自分で図書館のサイトから予約し、ひとりでバスを乗り換え、図書館へ本を取りに行っています。

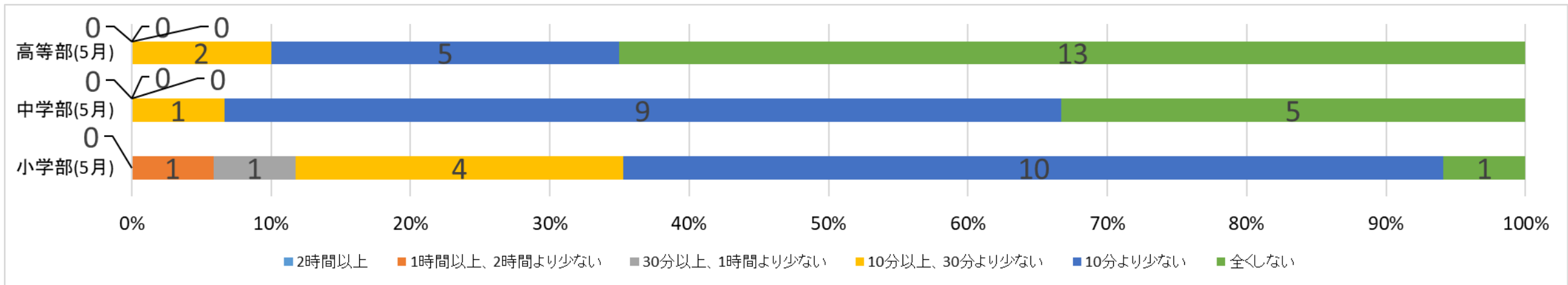
季節や、その時々興味のあるものを、親が借りてくるが、あまり自分から読んでと言わない。興味がないのかも。

図書館は好きです。

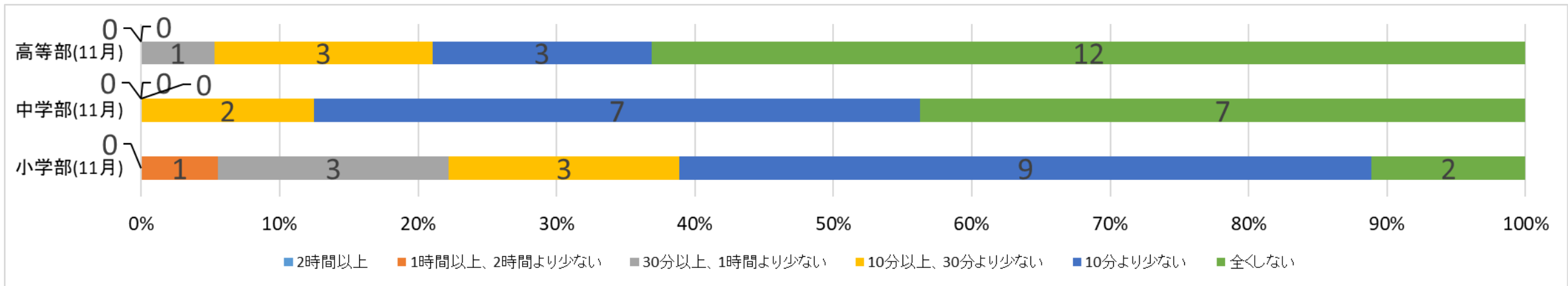
【学部間（再掲）】

平日の授業以外での1日当たりの読書時間（教科書や参考書、漫画や雑誌を除く）

○5月



○11月

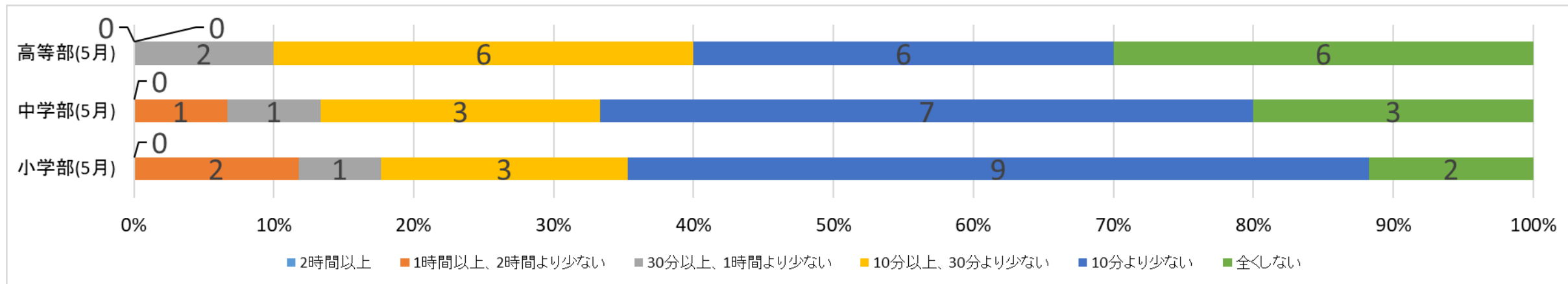


- ・小学部児童の読書時間をピークに、中・高と学部が上がるにつれて読書を「全くしない」割合が高まっている。
- ・どの学部も読書時間の傾向に大きな変化は見られなかった。

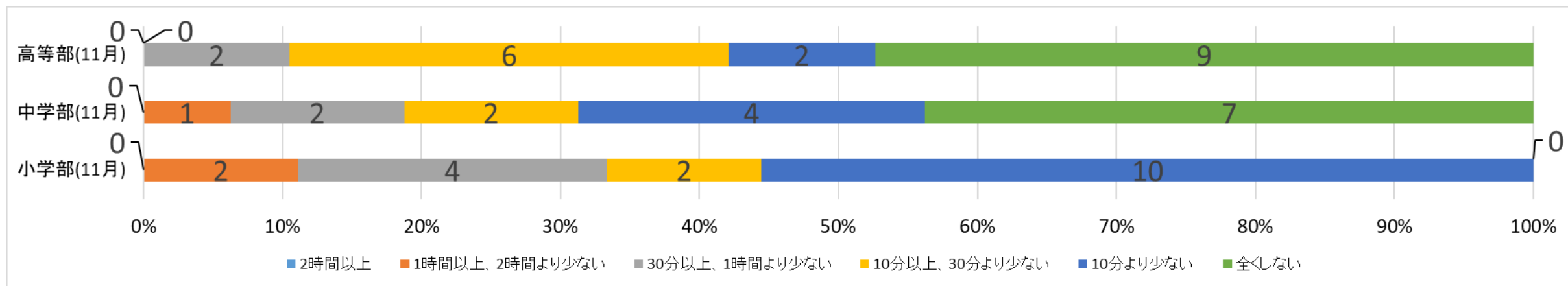
【学部間（再掲）】

平日の授業以外での1日当たりの読書時間（教科書や参考書、漫画や雑誌を含む）

○5月



○11月

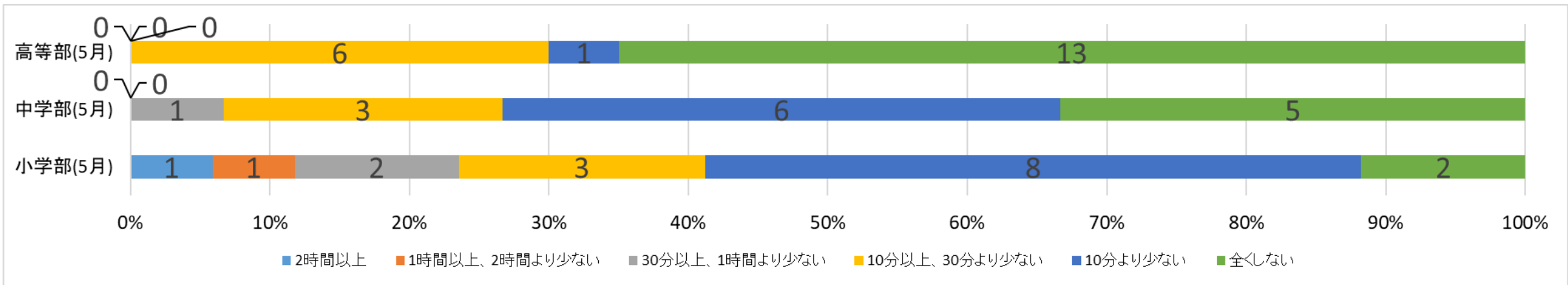


- ・小学部児童の読書時間をピークに、中・高と学部が上がるにつれて読書を「全くしない」割合が高まっている。
- ・中・高等部生徒は取組後に読書時間が減少した。

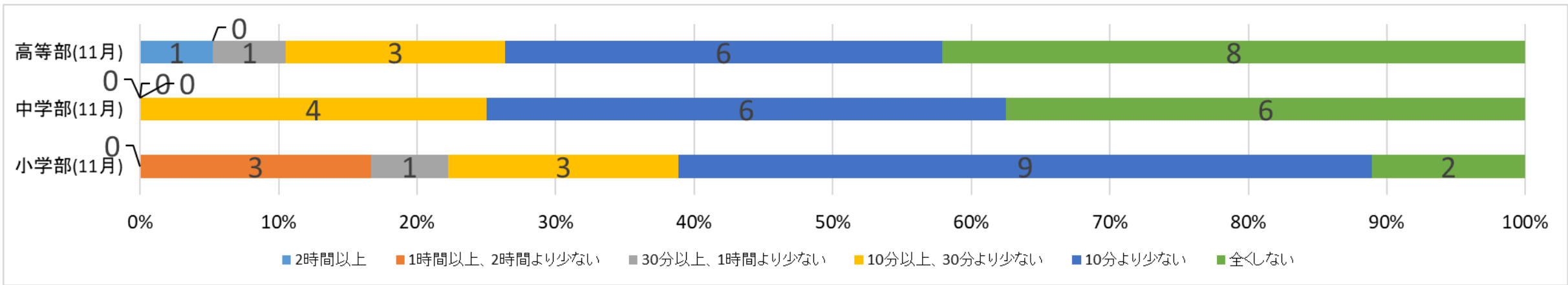
【学部間（再掲）】

休日の授業以外での1日当たりの読書時間（教科書や参考書、漫画や雑誌を除く）

○5月



○11月

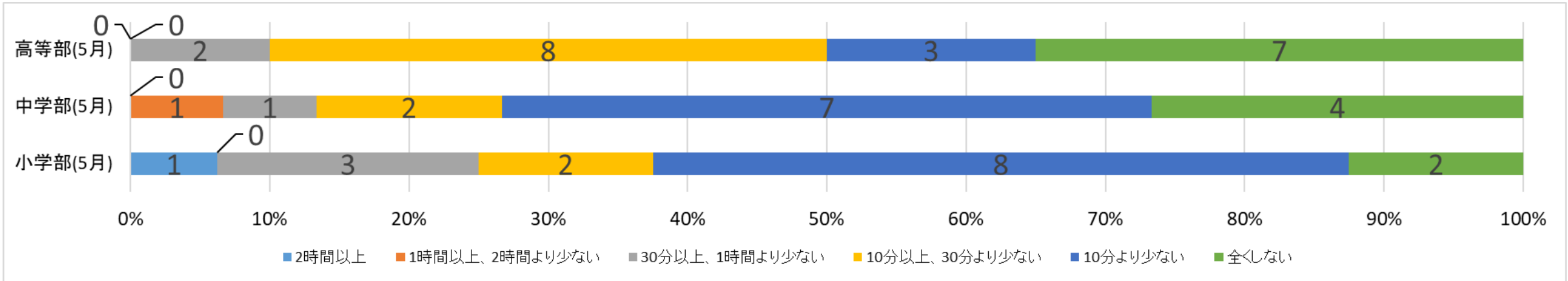


- ・学部が上がるにつれて読書を「全くしない」割合が高まっている。
- ・取組後の高等部生徒の不読率が減少した。小・中学部児童生徒の読書時間の傾向に大きな変化は見られなかった。

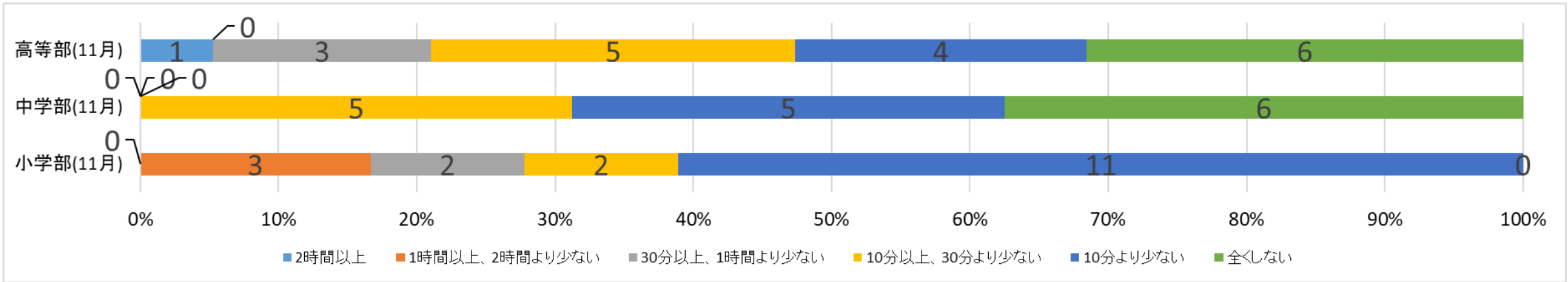
【学部間（再掲）】

休日の授業以外での1日当たりの読書時間（教科書や参考書、漫画や雑誌を含む）

○5月



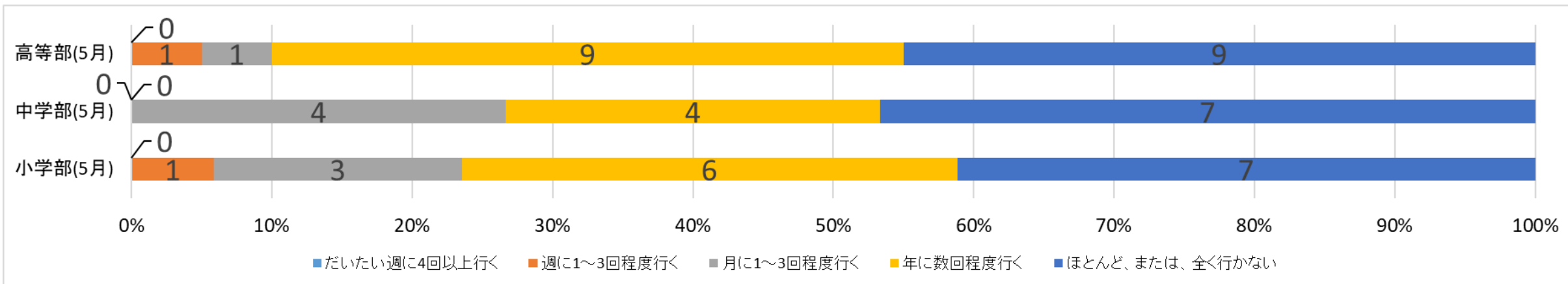
○11月



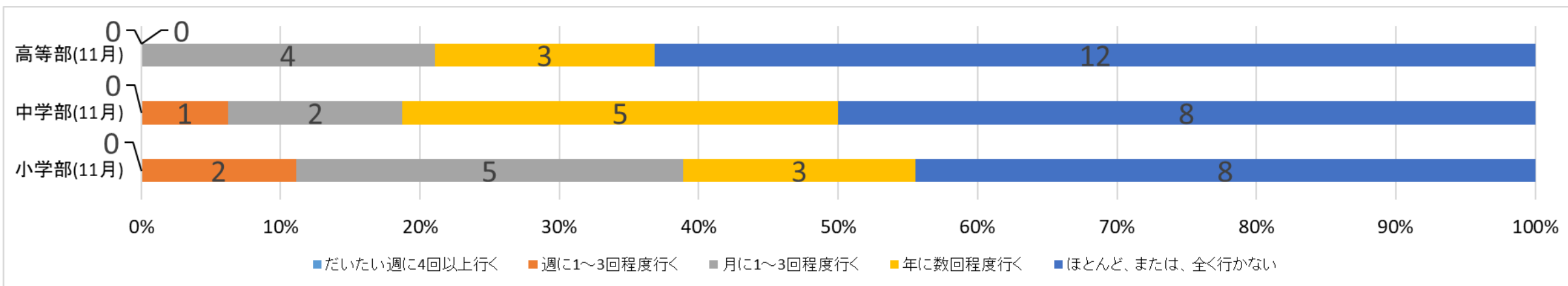
- ・小学部児童の読書時間をピークに、中・高等部生徒の不読率が高まっている。
- ・取組後も読書時間の傾向に大きな変化は見られなかった。

【学部間（再掲）】公共図書館の利用頻度

○5月



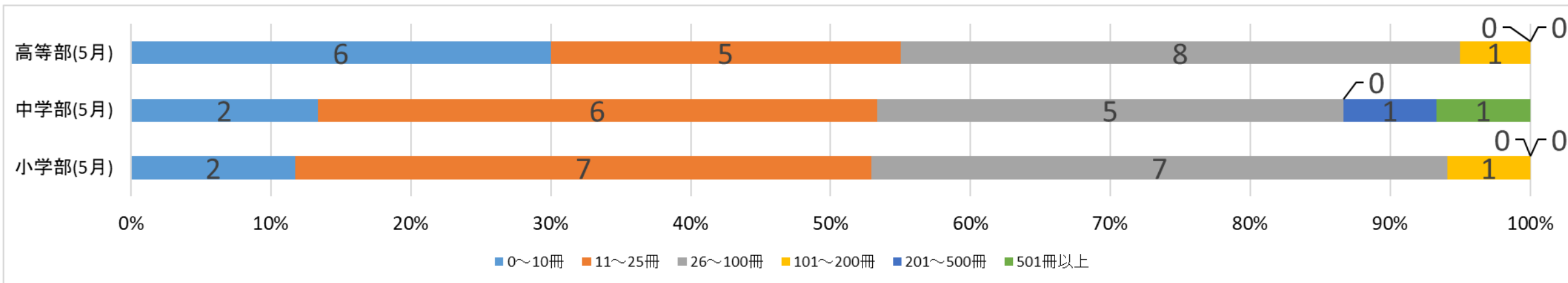
○11月



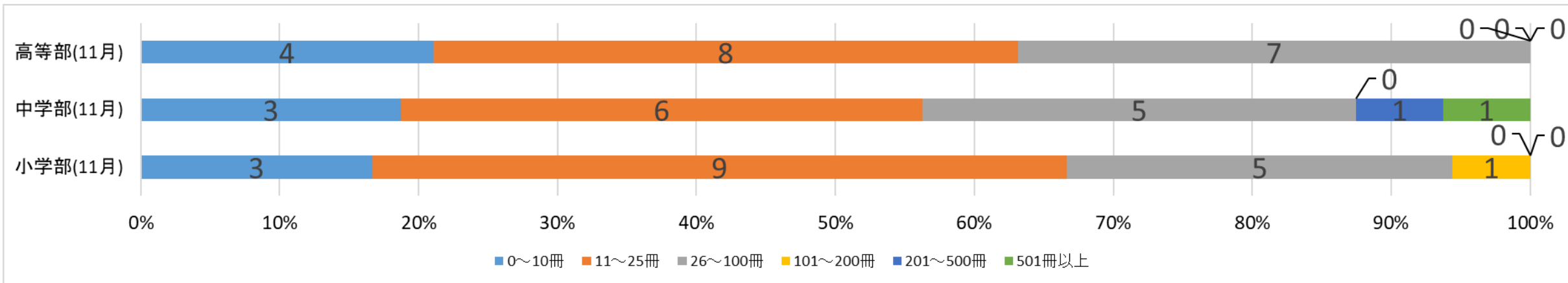
- ・学部が上がるにつれて公共図書館を利用しない割合が高まっている。
- ・公共図書館を利用してきた層について、小・高等部児童生徒は、取組後に公共図書館の利用頻度が高まった。

【学部間（再掲）】家庭の蔵書数

○5月



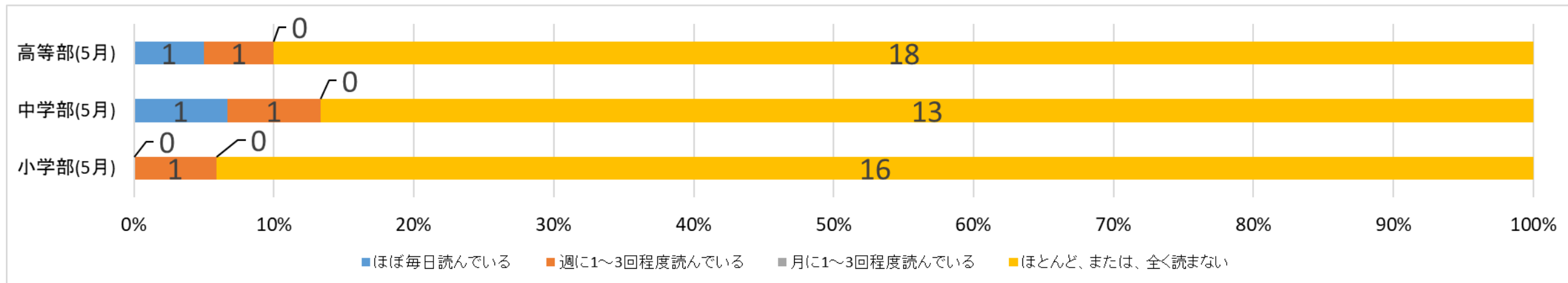
○11月



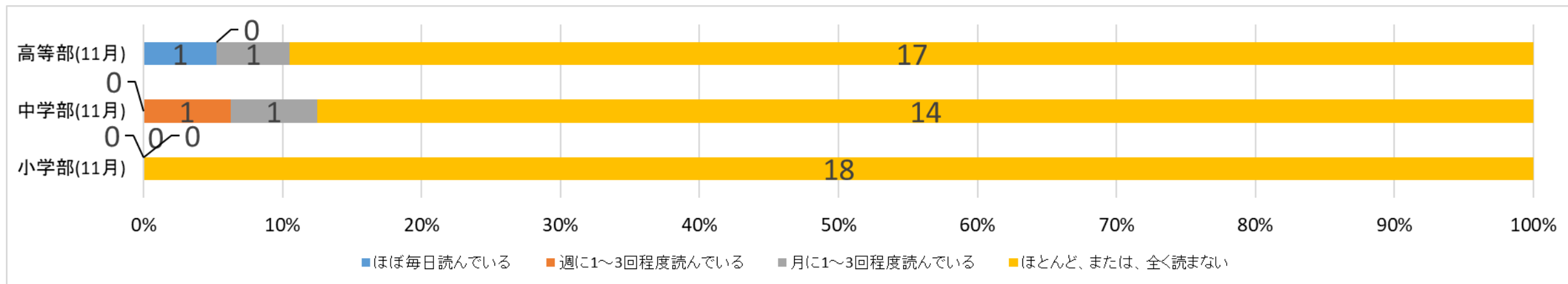
・各学部の蔵書数の傾向は類似しており、100冊以下の家庭が大半を占める。

【学部間（再掲）】新聞・子ども新聞の読書頻度

○5月



○11月

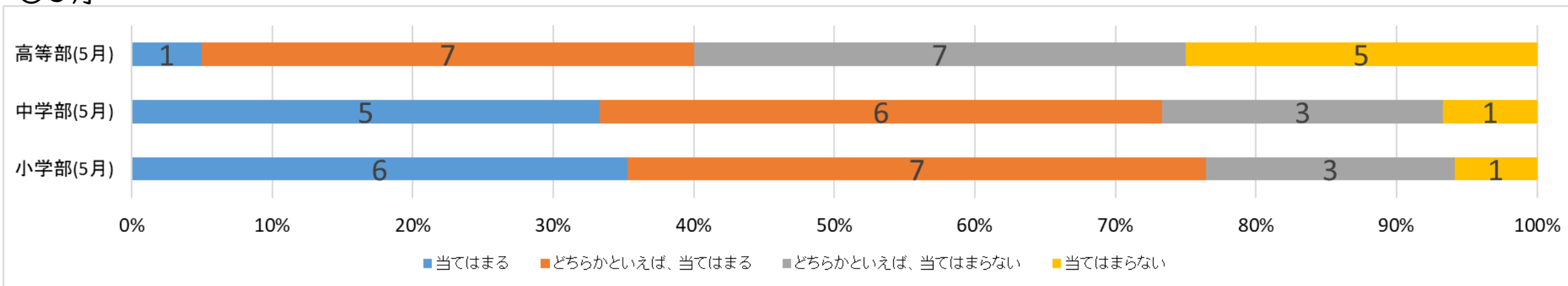


・ 大多数が「ほとんど、または、まったく全く読まない」と回答しており、各学部共通の傾向であった。

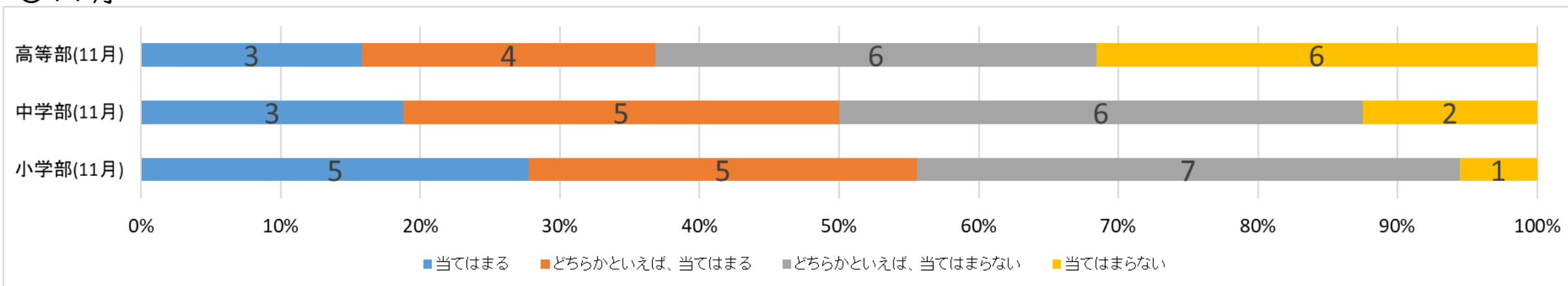
【学部間（再掲）】読書・読み聞かせへの興味・関心

Q お子さんは読書（読み聞かせも含みます）が好きですか。

○5月



○11月

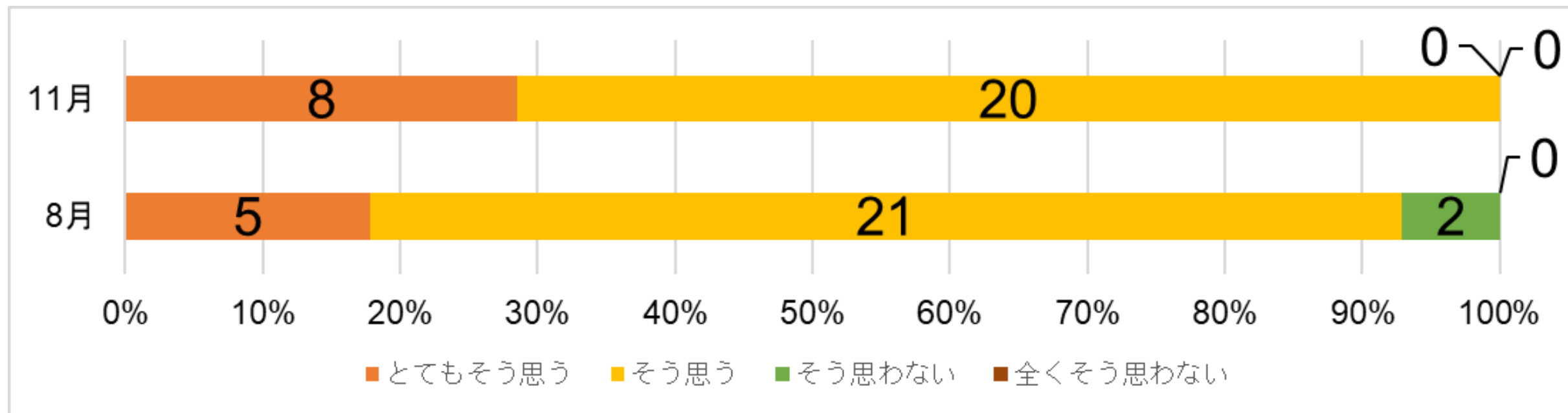


・読書・読み聞かせに対する肯定的な回答について、小学部児童をピークに中・高と学部が上がるにつれて減少している。

・各学部とも、取組後に肯定的な回答が減少した。

3 教職員アンケート

活動前と比較して、学校図書館の活用について理解が深まったか



・全教職員が学校図書館の活用についての理解が深まったと感じていた。(理解が深まったと感じている理由については次頁を参照)

1-2-5月①

1-1の理由、具体的なエピソードをお書きください。

(講演会の)レジュメ37読書の質とは何か？本選びの要因→「丁度読み手にはまる難易度→読書効果大」を参考に図書館で本を選びたい。
国語やクラス活動で、図書館利用の時間を設定するようになった。
図書館の活用の理解というよりは、学校図書館の環境整備により本の選定等で利用する機会が増えた。
活動前(昨年度)いなかったため。活動前の状況がわからず比較できないから。
中学部の生徒が図書館で本を借りる回数が増えた。
日頃より生徒が図書館をたくさん利用しており、教師から薦めた図書への興味関心も高い。中学部の美術授業では、毎時間授業の終わりには必ず有名な美術作品を一つ鑑賞する時間を設けている。「図書館の本でこの絵見たことある!」という感想が出たので、図書館の蔵書につなげる鑑賞活動を今後も続けていきたい。「この作者の出身の国は、どんな国だろう?」「この作品が描かれた時代は、どんな世界だったのだろう」等。いろんな本と出会う機会をつくっていける発問をしていこうと思います。
整備と朝学習により、本を読む場所になっていると思います。
朝読書に生徒たちが意欲的に取り組んでいる。
子どもたちに図書室を利用してい欲しいという先生方の思いが、図書室の環境整備や普段の活動に多く表れている。
児童への読み聞かせの絵本を学校図書館から探した。
児童が図書館を利用する機会を設けた。
子どもの集中力からある程度短時間の時間設定で取り組んでいたが、読書効果という面からも適切な時間だったとわかった。

1-2-5月②

1-1の理由、具体的なエピソードをお書きください。

生徒が学校図書館を活用して色々な本に興味をもてるように、図書室のレイアウトや本の置き方について考えるようになりました。

読書活動の活性化をねらいとした読書（読み聞かせ）の時間を設定することや学校図書館のレイアウト変更など、具体的な改善につなげることができた。

学校図書館を利用することで児童が絵本を読む機会が増えた。

図書室の本以外にも、地域の図書館から本の貸し出しを行うが生徒の興味を引き出すことがあるとわかった。

担当するグループでは、教員が本を選定しているが生徒に対して図書館を活用するような指導ができていない。どんな授業に関連できるか、どんな蔵書があるかを考えるようになった。

図書館を積極的に活用するための仕掛けを考えるようになったから

図書館や図書室を利用しようという意識が高まり、実際に使用頻度が上がったから。

週に一度学校図書館に行き様々な図書に触れられる経験を積むことができるようにした

借りてきた本を教室に置くことで、他の児童もそれらの本を手にとる姿が増え、興味関心の幅が広がっているように思われる

蔵書数が少ないことやジャンルが偏っていることを把握したうえで、それをカバーする方法（県立図書館のサービスの活用等）を考えるようになった。

図書室がすごく綺麗になったので使いやすくなりました。

本が並べられるだけでなく、生徒や教員の本の紹介があることで、本への興味を持ちやすくなる工夫が大切だとわかった。

図書館に行く機会が増え、生徒たちの興味や行事にあった本を置いてくださっていることがわかってきたため。

1-2-11月①

1-1の理由、具体的なエピソードをお書きください。

読書活動を通して、生徒自身の図書室利用が増えた。
そのことにより図書室の活用について工夫する場面も増えたと思う。
子どもたちの学校図書館に行く機会が増えた。図書館の本を借りる頻度も増えた。
自分自身も子どもたちへの読み聞かせの本を選書するために利用する機会が増えた。
図書の保管や配架が児童生徒の活動に影響する
これまでは学校図書館にはぼ入ったことがなかったが、行く機会が増えた
生徒が自発的に本を借りる様子が見られた
生徒たちが休み時間に自分から「図書室行きたい」と伝えてくるようになった。
常時、部屋に誰でも行き来できる雰囲気になっている。新しい本が増えたことで、活用を促すことも増えた。
生徒が読書をしている時間に一緒に読書をしたり、生徒に本を紹介したりするために図書館の本を読む機会が増えた。学校図書館には生徒だけでなく大人も楽しめる本があると知った。
生徒と一緒に図書館を利用する機会が増えたから
児童の様子を記録する中で、児童の動線上に図書を配置したり、図書が定期的に入れ替わったりすることで、児童が注目したり、図書を手に取ろうとしたりする機会が増えることが分かった。これを踏まえると、学級ごとに児童生徒に合わせた学級文庫を置いたり、学校図書館の目立つ場所に定期的に新刊や貸出図書を表紙が見える状態で置くことで図書の利用が促進されるのではないかという気付きを、児童の行動をベースに得ることができた。
図書室の環境が改善され利用している児童生徒の姿を見ることが多くなった

1-2-11月②

1-1の理由、具体的なエピソードをお書きください。

朝学習だけではなかなか学校図書館の活用については難しいが、他教科の時に資料や本を探したりすることについては活用していると思った。

一般論として言われている学校図書館の機能をもとに、本校の状況に応じた形で具体的に改善を図ることができた。

子供たちが本好きになっている

意識して図書を活用するようになった

生徒が図書館を活用するために、本の置き方の工夫や掲示等について考えることができた。

研修等を通して、読書活動推進の効果を学んだから

生徒にあった本の購入や生徒が手に取りやすいような工夫などの視点をもつことができた。

自身の朝読書グループに所属する生徒にどんな絵本を選ぶと良いか、普段の彼らが手に取る絵本を見たり、絵本の内容を読み比べたりして活用した。

活用することで児童に提示する本の種類の幅を増やすことができた

教員も生徒も手に本をとる機会が増えたこと

図書館自体は利用頻度は少ないが、教室内に図書コーナーを設けることで、図書を手にする児童が増えた本を選びやすく図書をレイアウトすること、また、本の紹介展示によって、生徒たちが、取り組み前には読んでいなかったジャンルの本に興味を持つきっかけとなっていた。

図書室が整備されて使いやすくなったから。

「本を読みたい」と図書室に行く回数が増えた。

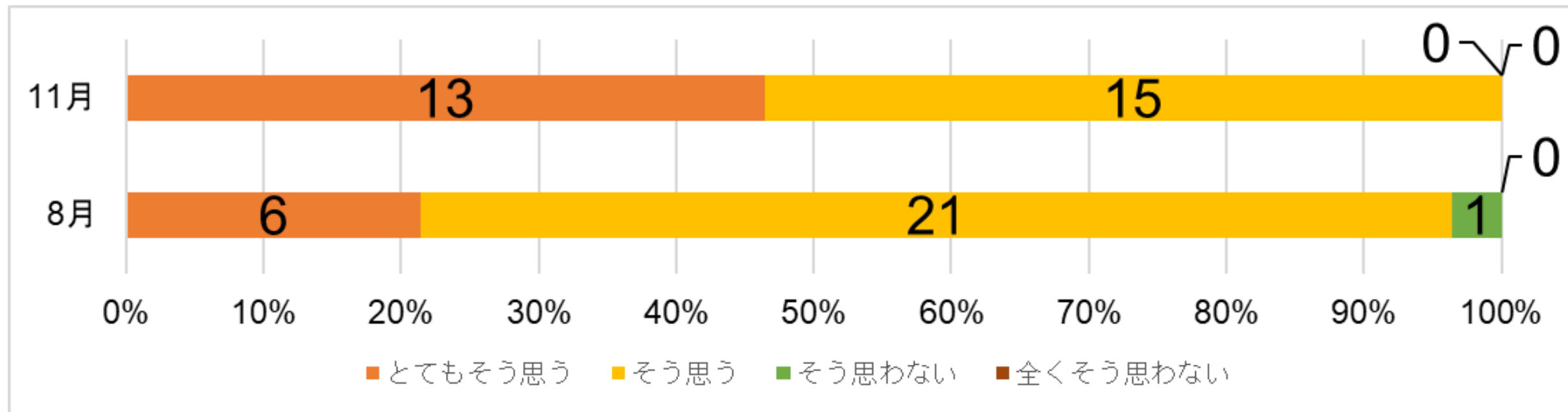
1-2-11月③

1-1の理由、具体的なエピソードをお書きください。

小学部の児童があまり読んだことのない絵本を選定するのに利用した。
県立図書館の絵本を置くことで、いろいろな絵本に触れる児童の姿が見られた。
クラスで図書館を活用する機会が増えた

2-1

活動前と比較して、読書・読み聞かせ（児童生徒理解を含む）について理解が深まったか



・全教職員が読書・読み聞かせについての理解が深まったと感じていた。（理解が深まったと感じている理由については次頁を参照）

2-2-8月①

2-1の理由、具体的なエピソードをご記入ください。

読み聞かせをしている教師自身も生徒と一緒に絵本の楽しさを共有できていることを再認識できた。

児童の反応を踏まえたり、お話タイムで読む選書の理由を明確にするようになった。

他の先生から読み聞かせの仕方や本の選定の視点などの話を聞いたことで自分の読み聞かせに活かすことができた。

クラスの生徒が図書室に行ったとき興味のある絵本を探して読んでいることがよくあり、読書の効果であると感じています。

読み聞かせグループの生徒は、当初自身の興味のある絵本にしか興味を示さなかったが、お気に入りの絵本をきっかけに「読みたい。聞きたい。」という明確な気持ちを自ら椅子を用意して移動するという行動につながるがあった。この取り組みによって「すぐ」なにかが変わることを求めるのではなく、「彼らにとっての本との出会い」をどのようにコーディネートするとよいだろう、と考えるようになった。

生徒の嗜好を知ることができた。

ただ読ませる活動（読書量や読書時間を増やす）だけではなく、その効果についての議論を行っている（理解につながっているかどうかはまだわかりませんが）

児童たちが少しでも集中して、また楽しさ面白さを感じながら読み聞かせを聞くことができるように選書を考えたり読み方を工夫したりするようになった。

読書時間、負荷の度合い、ジャンルなどの視点で読書の効果が理解できた。

生徒が手に取る本の変化や、共有する内容や様子に注目するようになりました。

ただ長時間本に触れる時間があれば良いわけではなく、個々に合った質の高い本との関わりが重要であると気付くことができた。

2-2-8月②

2-1の理由、具体的なエピソードをご記入ください。

どのような読み聞かせが有効かを考えるきっかけとなった。

効果が狙えるグルーピングのもと、それぞれに合った方法で読書・読み聞かせを行うことによって、生徒の意欲を引き出せることが分かった。

読書活動（読み聞かせ）に使う本の選定をしながら実践を繰り返すことができた

生徒の様子や興味関心に合わせた読書との向き合い方を考えるようになった。

読み聞かせの仕方について学ぶことができたから

自由読みでは特性上取り組めなかった児童（本に興味はあるが選ぶことができない）について、どんな形態であれば読めるのか考える機会となった。

絵本ばかり借りたり読んだりする児童が、授業に関連する図鑑等を開く姿が見られた

経験や体験により、図書を選ぶ視点が少しずつ変化していくように感じた

絵本は基本的に読まないと思わせる生徒でも何度か読み聞かせを聞いていたことがあり、やはり内容の面白さは大事だと感じました。

子どもの本への向き合い方を把握し、それに応じた取組を考えるようになった（実行はできていないが）。

子どもたちがどんな絵本を好きか、なぜその本が好きなのかをみんなで考えるのは勉強になりました。

生徒が手に取る本のジャンルの幅が広がったように思う。

読み聞かせをするなかで、生徒の興味や盛り上がるポイントが少しわかってきました。

2-2-11月①

2-1の理由、具体的なエピソードをご記入ください。

それぞれの生徒にとっての読書について学部で話し合い、共有することができた。

読書や読み聞かせが子どもたちが「楽しい」「面白い」という気持ちを実感し、他者に伝えることができる大切な手段ということを改めて実感することができた。

生徒の好きな本を見つけることができた

生徒に合わせた本の選定や、読み聞かせの方法について他の先生と話すことができたため

読み聞かせの時間になると教室に集まりスタンバイしている

この生徒はこんな本が好きなんだ、と教師が知る良いきっかけになった。好きな本の傾向を知れたことで、生徒へオススメもしやすくなった。

生徒の本についての話を聞くことが多くなった。その会話を聞いている生徒もあり、広がりや深まりにつながるなと思います。

生徒が読んでいる本のジャンルや、どのように本の内容を理解しているか等を見ることで、生徒の読解力や趣味嗜好、読書習慣を知ることができた。

実態把握と実践を繰り返し行ったから

児童の動画や行動の記録を基に、本との距離感や本を介した掛け合いなどを意識して読み聞かせに取り組むなど、読み方の工夫につなげることができた。

読書や読み聞かせをについて情報を共有したり児童生徒の反応などを話したりしている先生方が多くみられる生徒の様子から、取り組みの改善、計画、実施を繰り返すことで、年度当初に比べ、生徒が楽しんでいるように思われる。やはり生活に即した内容は大事だと思った。

2-2-11月②

2-1の理由、具体的なエピソードをご記入ください。

モデルケースとして抽出した児童生徒を詳細に分析していくことで、個に応じた取組の充実を図ることができた。抽出時以外に児童生徒についても同じ方法で見取っていくことで、個に応じた取組・指導を考えるきっかけになった。

読み聞かせの工夫について考えるようになった

普段の様子から安易に読み聞かせが向いていると判断してグループを編成したが、読み聞かせをしている動画や機器を用いたアセスメントから、生徒に対してより効果的な読書方法について考えることができた。

研修等を通して、読書活動推進の効果を学んだから

毎日読み聞かせを行ったことで本の読み方、生徒の興味のある本などの理解が深まった。

生徒が身を乗り出して聞き入る絵本と比較的反応の薄い絵本の違いを考え、その絵本の特徴(装丁、題名、デザインの色使い、文章構成等)について考えたり、絵本作りの工夫について理解が深まった。

毎週定期的に読書に時間を取り入れることで、読書を通して児童を見取る回数が増えた

図書を通して生徒の学びを考える機会が増えた

教室内の図書コーナーに、テーマを設けて絵本や図鑑をそろえる等環境設定を工夫することで、児童自らが興味関心を広げていく姿が見られた

1冊の本のどの部分に生徒の興味関心があるのかを知ることができた。

本によってや読み方によっての反応の違いや、なぜ生徒がこの本を選んだのかなどを考えて次の読み聞かせに活かせるようになった。

生徒の特性に応じてどの絵本に興味があるのか理解が深まった。

2-2-11月③

2-1の理由、具体的なエピソードをご記入ください。

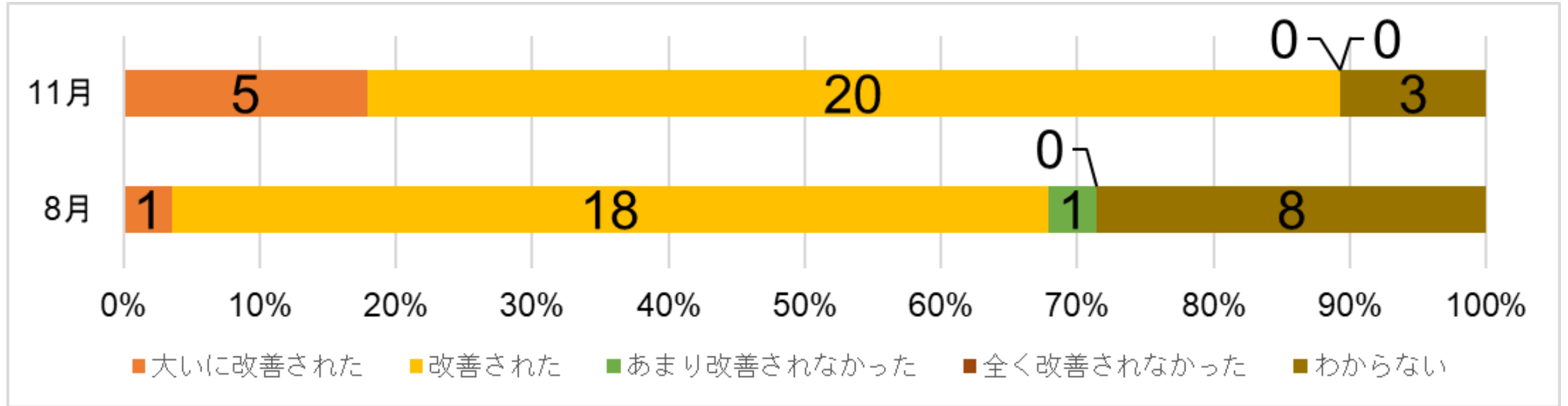
6人に対して6冊を1分30秒で回し読みをした。6冊をジャンル分けをしてあらかじめ選定しておくことで、好きな絵本を見つけたり、選んだりできない児童が好きそうな絵本をみとり、好きそうな2択（または好き・微妙の2択）で選ばせる活動をした。絵本を見る機会の増加、本人が好き絵本を見つける、教師が本人の好きな絵本のジャンルをみとることにつながった。選んだ絵本は毎回読書ノートに記録したが、自ら読んだ絵本を振り返る姿が見られたのは知的能力の高い1名のみだった。

同じ絵本を読むことが多い児童も、教室内に読み聞かせをした本を置いておくことで、自分から手に取って読む姿が見られた。

読み聞かせの形態をクラスごとに分けたことで、クラスの実態に合う選書をするようになった。

3-1

読書・読み聞かせに係る指導計画や指導方法など、授業づくりは改善されましたか



・取組後は読書・読み聞かせにあたっている全教職員が読書・読み聞かせに係る指導を改善したと回答していた。（改善したと判断した理由については次頁を参照）

・「わからない」と回答した教職員は読書・読み聞かせを行う機会が少なかった・なかったためであった。

3-2-8月①

3-1の理由、具体的なエピソードをお書きください。

教師自身も絵本に興味を持つことでより楽しさを伝えることができた。

オノマトペの学習の時に、オノマトペが本誌に登場する絵本を選ぶなどの視点をもつようになった。

普段の読書活動を含めてよいのであれば、毎日の読み聞かせを行うなかで改善してよりよい物になったかとは思いますが、自身の授業の中で読書に係る内容をうまく取り入れて改善することはできていないと感じる。

学部が変わったため、改善ではなく模索していた

中3教室グループで生徒が興味を示すような絵本の選択や読み方の工夫を行ってから、一人の生徒は興味を示す絵本が増え読みたい絵本を伝えてくれるようになった。

自身の教科指導の場面では、どのように取り入れられるか考えた。

これから実践します。

授業づくりについては、実態を見ていないのでまだわかりません

おはなし広場のレイアウトを変えたり、教室など他の場所に絵本コーナーを作ったり環境設定を行った。

おはなしタイムのグルーピングを変更した。

2-2のことを踏まえて指導方法を考えようと思う。

他教員の読み聞かせの方法を参考に生徒が絵本に注目できるような声のかけ方や、挿絵や内容に注目できる工夫について考えるようになりました。

取組改善の途中にあり、現段階では良い方向に向かっているか判断はできない。

絵本の読み聞かせする機会が増えた。

3-2-8月②

3-1の理由、具体的なエピソードをお書きください。

授業づくりの改善に影響を与えたかどうかまだわからない。

実践を通して他の教員と情報交換等ができていたので、本の選定、生徒への指導に生かしやすい。

子どもの姿から、指導方法を試行錯誤し変化させるようになった。

夏休みの宿題として読書に関するものを作成したのですが、新しいことに取り組めた気がします。

上記と関連して、クラスで決められた数冊の絵本を時間で区切って回し読みするというスタイルにすることで、自分で選べない児童も安心して前のめりに読書に取り組む姿勢が見られた。

教員が図書の活用を意識することで、単元計画等や授業の展開を考える際に役立っている

読み聞かせを行う集団のメンバーによっても生徒の反応が違ったので、何度かグループを変えてやってみました。

子どもの本への向き合い方を把握し、それに応じた取組ができるようグループ・内容を調整するようになった。

将来的に、本と給食を結び付けて給食のメニューを提供できるかもしれないが子供たちと本をどのように結びつけるのか・・・どんな本が良いかは考えていく必要がある

本を選ぶときに適当に選ぶのではなく、子どもの好きそうな絵や物語の展開を考えて選べるようになりました。

生徒同士の本の紹介場面が設定されることで、生徒自身が本の内容を理解しようとする様子が見られた。

読み聞かせの内容に合わせて動作する、質問するタイミングなど少し改善していると思います。

3-2-11月①

3-1の理由、具体的なエピソードをお書きください。

国語の授業の「読む」単元で、教材となる物語の選定で参考にすることができた。

子どもたちが絵本の読み聞かせに注目したり、楽しんだりできるように選書したり、読み方を工夫したりすることを心掛けて読み聞かせをするようになった。

学部で話し合いを行い、対象児のエピソードをもとに選書ができたことがよかった

読み聞かせの際に、生徒が聞かなくていい活動を考えるようになったため

初期は一週間同じ絵本を担当の教諭が日替わりで読んでいたが、生徒の様子から曜日で担当教諭を決めて各自が選んだ絵本を1か月読むことが効果的ではないかと考え実践している

どれだけの文章量なら読みやすいかなど、意識するようになった。

本の紹介の取り組みで、感想を書くこと(発表すること)に時間を使わないようにしたことで、フリーの時間を確保でき、友達の紹介した本を読もうと関心を示す行動も見られた。

生徒が本の紹介をする活動では、生徒が本を深く読み込めるよう、教員間で相談して読み方のアドバイスを工夫することができた。

教員間で相談したり本を調べたりすることが増えたから

絵本への親しみを日常的に培うことで、様々なテーマの絵本やお話を国語や生単、図工、音楽の導入等に活用することにつながった。

生徒の様子に合わせて、読書時間の時間配分が変わってきた。

講演会で猪原先生が話していた読書の3原則を踏まえ、中長期的な視点で取組の改善に臨むことができた。

3-2-11月①

3-1の理由、具体的なエピソードをお書きください。

図書を有効に活用する方法について考えるようになった

知的障害のある生徒への読み聞かせについて今まで以上に考えるようになりました。

授業というよりは指導方法として、読み方や注目のさせ方などが改善されたように思う。

主にBグループの授業での導入場面において、絵本の展開を授業展開に活かし、生徒の興味関心を惹きつける工夫につながったと感じている。

初めは学校図書館で好きな本を選んで読むというスタイルで行っていたが、たくさんの本の中から選ぶことが難しかったり、そもそも「選ぶ」という行為そのものが難しかったため、教員が事前に6冊ジャンルの異なる本を選び、短時間で回し読みを行ってから選ぶスタイルに変更した。ちゃんと本に向き合う児童が増え、選ぶことができる児童も増えた。

読み書きの観点を入れた指導にシフトできてきた

授業と読み聞かせや読書活動を関連づけることにより、どちらの活動も広がりや深まりが見られた

生徒の興味関心のリサーチから、本を手にとってもらえるよう試行錯誤する機会となった。

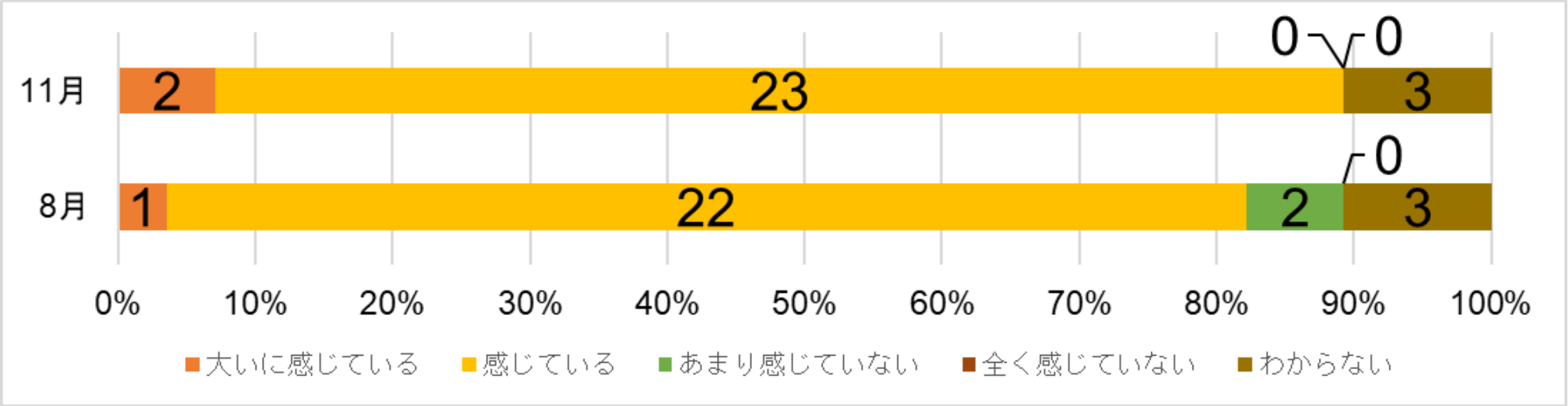
読み聞かせの時の生徒の様子を動画で振り返ることで、本の選定や読み方等少しずつ改善することができた。

生徒の特性に応じて絵本を選ぶことができたため生徒が関心を得ることができた。

選書の仕方が改善した。

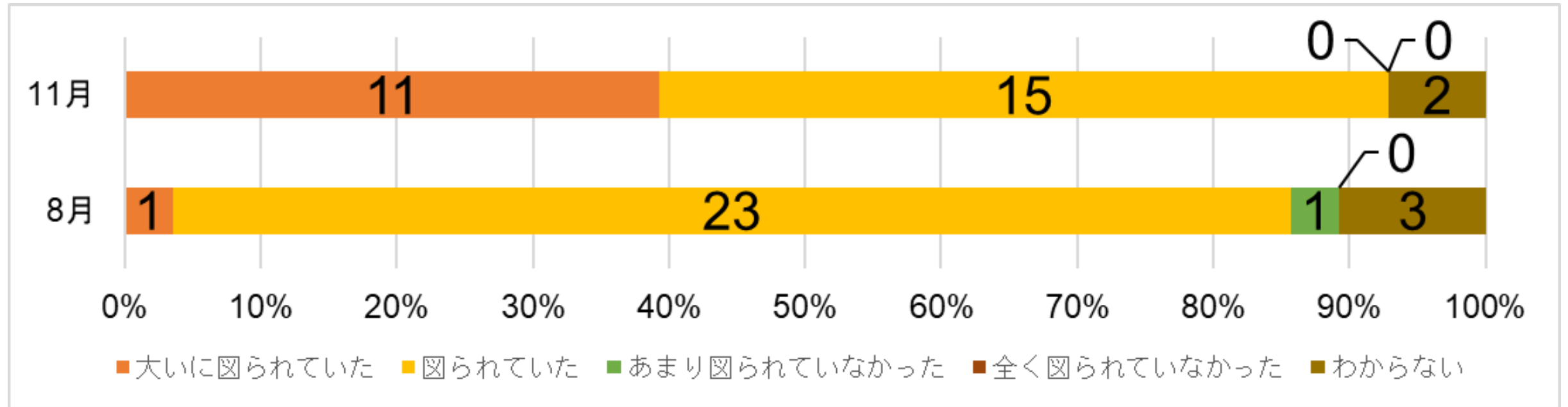
お話タイムの集合形態を学部全体から、クラスごとに分けて実施した。

4 教師としての満足感



・「読書活動推進事業」を通して満足感を感じている教職員が大半を占めていた。

5 教員間の連携や協力は図られていましたか



- ・取組後は読書・読み聞かせにあたっている全教職員が読書・読み聞かせに係る指導を改善したと回答していた。
- ・「わからない」と回答した教職員は読書・読み聞かせを行う機会がなかったことに加え、学部研究会に参加していないためであった。